

千葉市橋梁長寿命化修繕計画 (第3期)



美浜大橋



はるのみち橋



中野高架橋



弁天橋

令和4年9月



目次

1	千葉市橋梁長寿命化修繕計画策定の背景と目的	1
1-1	背景と目的	1
1-2	千葉市橋梁長寿命化修繕計画更新に当たっての基本方針	2
1-3	計画のサイクル	4
2	第2期計画の検証・評価	5
2-1	第2期計画の検証	5
2-2	第2期計画の評価と計画更新のポイント	7
3	橋梁の現状	8
3-1	橋梁数と老朽化状況	8
3-2	橋梁の現状	9
3-3	点検結果の整理	11
4	維持管理方針	13
4-1	維持管理方法の設定	13
4-2	橋梁のグルーピング	13
4-3	点検方法	14
4-4	維持管理方針の設定	15
5	橋梁の更新	18
6	劣化予測の手法	19
6-1	劣化予測モデル（劣化曲線）の設定手法	19
6-2	劣化曲線の設定	20
6-3	劣化曲線の補正方法	21
7	事業費予測の手法	22
7-1	事業費予測の基本的考え方	22
7-2	評価単位の設定	22
7-3	対策工法（修繕内容）と効果の設定	23
7-4	平準化と優先度評価	24
8	計画による効果	25
8-1	維持管理シナリオの設定	25
8-2	事業費予測における条件整理	26
8-3	計画による効果	27
9	新技術等の活用	28
9-1	橋梁点検における新技術の活用	28
9-2	補修工事における新技術の活用	30
10	撤去・集約化等による費用の縮減に関する方針	31

1 千葉市橋梁長寿命化修繕計画策定の背景と目的

1－1 背景と目的

日本の社会資本は、戦後の高度経済成長期とともに着実に整備され、一定のストックを形成してきました。今後は、高齢化した社会資本の割合が急速に増加するという課題に直面することとなります。

本市では、平成 27 年 11 月に「千葉市道路施設戦略的維持管理方針」を策定し、多種多様で大量の施設から構成された道路施設を効率的かつ効果的に管理するための総合的維持管理方針として、個別施設計画を策定しています。

橋梁については、予防保全型の維持管理に転換することで、長寿命化を図り、予算の平準化と維持管理コストの縮減を行い、次世代に大きな負担をかけることなく、道路交通の安全性と信頼性を将来にわたり確保することを目的に、平成 22 年 5 月「千葉市橋梁長寿命化修繕計画」を策定し、平成 23 年度から老朽化対策に取り組んできたところです。

現在まで、計画的に点検や修繕を実施してきましたが、平成 28 年 11 月の第 2 期計画策定から 5 年が経過し、管理する橋梁も増え、点検結果や修繕実績が蓄積されたことから、計画の継続性と精度を高めるために、計画を更新し、第 3 期計画を策定しました。

1-2 千葉市橋梁長寿命化修繕計画更新に当たっての基本方針

～本市が目指す「橋梁長寿命化修繕計画」とは～

(1) 全橋梁を対象とした計画の更新

道路管理者が管理するすべての橋梁を対象とし、長寿命化修繕計画を更新します。

(2) 道路交通の安全性・信頼性を将来にわたって確保

日常パトロールによる通常点検と、5年に1回を基本とする定期点検を計画的かつ継続的に実施することにより、橋梁の状態を早期かつ的確に把握し、早期に維持修繕を実施していくことで、道路交通の安全性・信頼性を将来にわたり確保します。



写真1 橋梁定期点検状況①



写真2 橋梁定期点検状況②

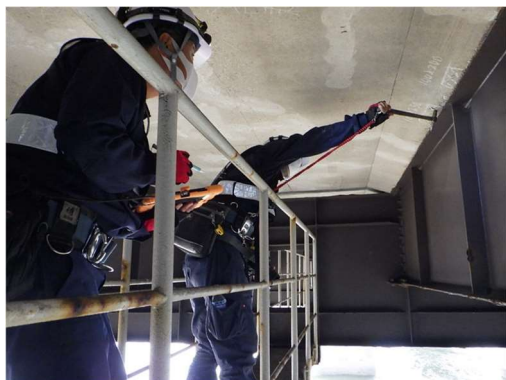


写真3 橋梁定期点検状況③



写真4 橋梁定期点検状況④

(3) 計画期間

第2期計画は平成28年11月に策定され、2016年（平成28年）から2066年までの50年間の計画期間としています。

第3期計画は、第2期計画の策定時（平成28年）から現在までの振り返りを行うとともに、2066年までの45年間の計画について見直しを行います。

(4) 維持管理のコスト縮減と予算の平準化

予防保全型の維持管理を計画的に進め、維持管理費のコスト縮減とともに、財政負担が短期間に集中しないよう予算の平準化を図ります。また、平成28年から令和2年度までの事業費の実績に基づき、実行可能な事業計画を策定します。

（５）維持管理のメンテナンスサイクルの継続

第２期計画に引き続き、「点検」→「診断」→「措置」→「記録」といった維持管理のメンテナンスサイクルを継続します。また、一元的な管理を行うのではなく、橋梁種別やタイプ毎に分類し、メリハリのある管理方針に基づいて、点検方法や点検頻度などを設定して、維持管理の効率化を図ります。

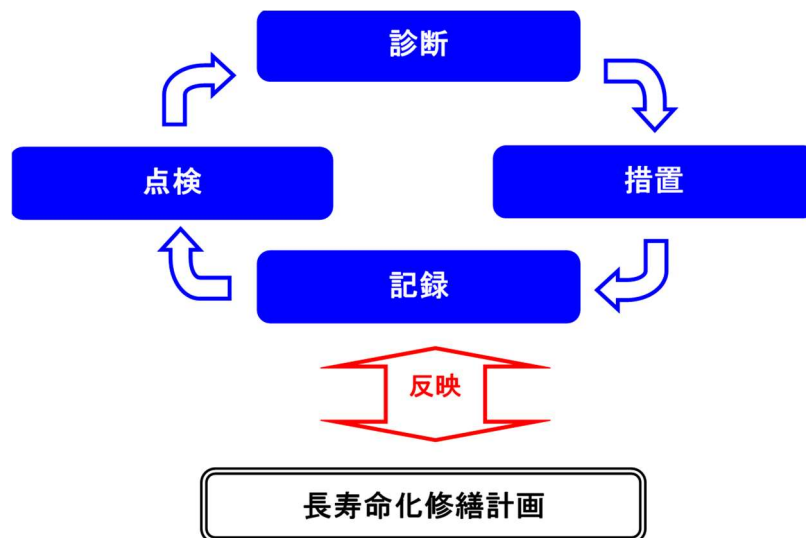


図1 メンテナンスサイクル

（６）職員の技術力向上および点検コスト縮減

職員が橋梁点検を実施することにより、職員の技術力向上、職員間の技術継承が行われる体制を継続します。また、点検に係るコストを縮減します。



写真5 職員点検状況①



写真6 職員点検状況②



写真7 職員点検状況③



写真8 職員点検状況④



写真9 職場研修会①



写真10 職場研修会②

1-3 計画のサイクル

計画の継続性と精度を高めるために、5年に一度を目途に、計画を更新していくこととします。
点検結果や修繕工事の効果を定期的に計画に反映することで、劣化予測などの精度を高めるとともに、つくったものを長持ちさせて大事に使う「ストック型社会」の意識向上に努めながら、計画を継続していきます。

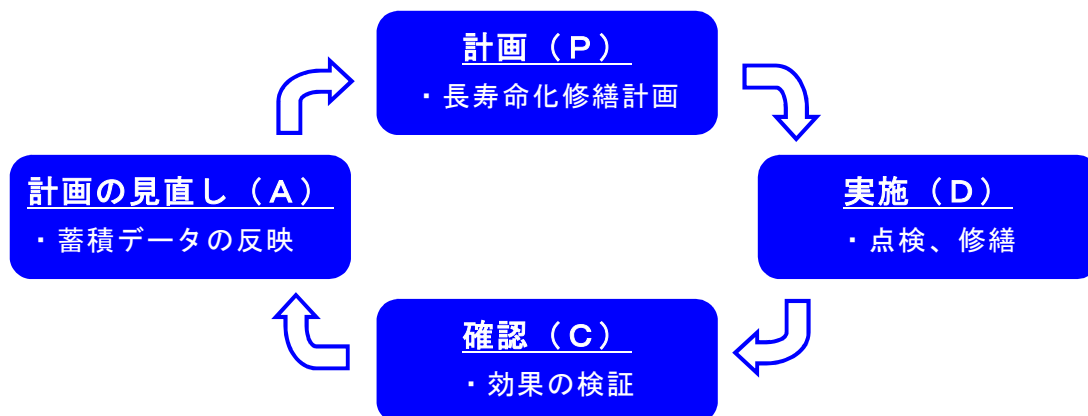


図2 計画のサイクル

2 第2期計画の検証・評価

2-1 第2期計画の検証

計画の精度を高めるため、第2期計画の計画期間のうち、平成28年度～令和2年度について検証を行い、評価を行いました。

(1) 橋梁点検結果

近接目視による適切な診断結果により、早期に措置を実施することで、橋梁の健全性が全体的に向上しました。また、これまでに措置を実施した箇所の補修後の点検において、損傷の再発は確認されていません。結果、健全性Ⅲ（道路橋の機能に支障が生じる可能性があり、早期に措置を講ずべき状態）の橋梁が約20%（90橋）から3%（16橋）に減少しました（図3）。

現在、健全性Ⅳ（道路橋の機能に支障が生じている、又は生じる可能性が著しく高く、緊急に措置を講ずべき状態）の橋梁はなく、健全性Ⅱ（道路橋の機能に支障が生じていないが、予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい状態）の橋梁が全体の41%（223橋）となっています。

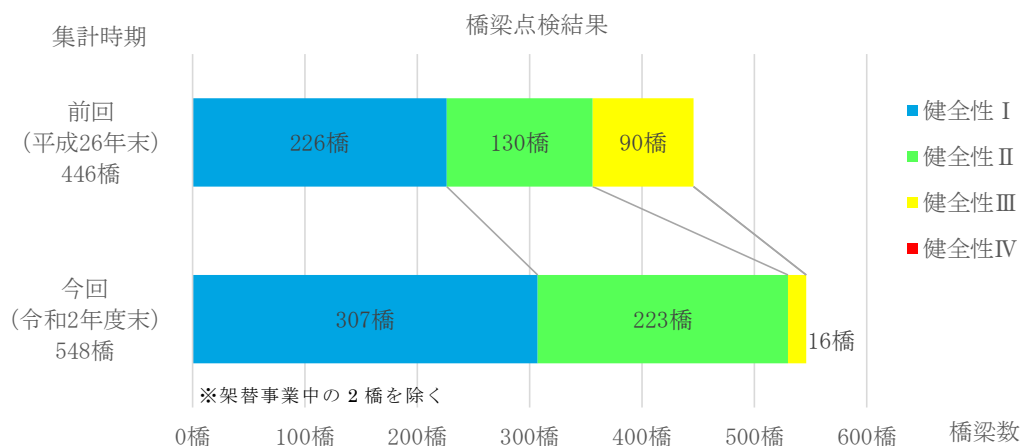


図3 橋梁点検結果

表1 健全性の判定区分

区分		定義
I	健全	道路橋の機能に支障が生じていない状態
II	予防保全段階	道路橋の機能に支障が生じていないが、予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい状態
III	早期措置段階	道路橋の機能に支障が生じる可能性があり、早期に措置を講ずべき状態
IV	緊急措置段階	道路橋の機能に支障が生じている、又は生じる可能性が著しく高く、緊急に措置を講ずべき状態

出展：橋梁定期点検要領（平成31年3月 国土交通省 道路局 国道・技術課）

（２）修繕工事

第２期計画では、65 橋の補修工事を計画していました。概ね計画どおりに補修工事を実施するとともに、耐震補強工事との同時施工、定期点検で新たに確認された損傷について施工時期を前倒して早期補修したことから、同期間で 76 橋の補修工事を実施しました。

補修工事の事例



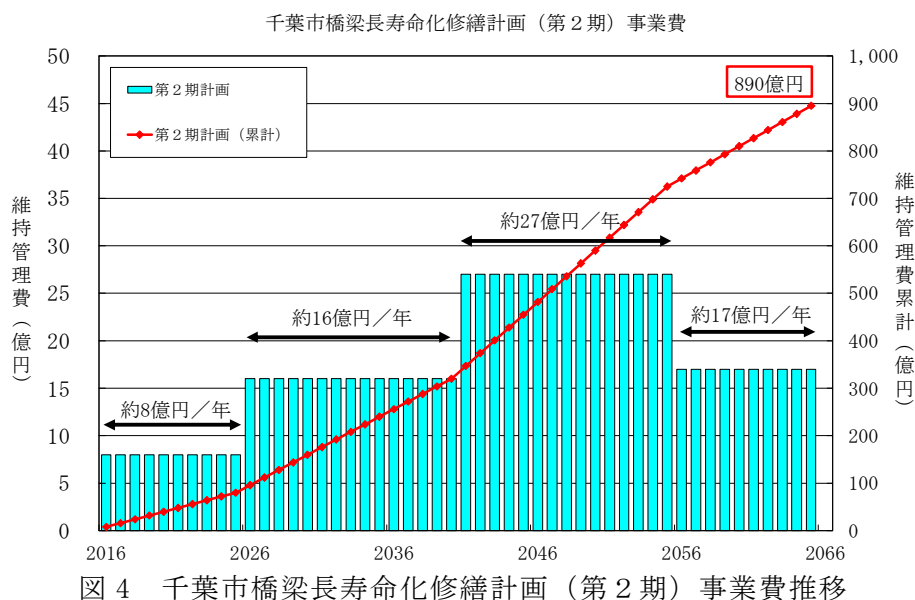
写真 11 塗装塗替 施工前



写真 12 塗装塗替 施工後

（３）事業費の推移

第２期計画（平成 28 年度～）においては、年間事業費として 8 億円が計画されておりましたが、その間の事業費の実績は約 10 億円（平均）となりました（図 4）。



（４）今後の課題

第２期計画において想定していた 2026 年以降の年間事業費は 16 億円であり、平成 28 年（第 2 期計画策定時）から令和 2 年度までの 5 年間の実績（平均 10 億円）を上回ります。よって、今後の予算確保が困難になることが、維持管理上の課題となります。

2-2 第2期計画の評価と計画更新のポイント

第2期計画において補修工事を概ね計画どおり実施し、定期点検の結果から健全性の改善が確認され、計画は概ね順調であったと評価します。そこで、第3期計画の策定においては、基本的に第2期計画から方針の変更は行わず、予算確保が困難となる課題に対して解決を図ります。

なお、今後の事業費について計画に対する実績を的確に把握するため、計画期間を第2期計画と合わせ、2066年までとします。

更新する主なポイントは以下のとおりです。

1) 目標供用期間の設定

これまで補修を適切に実施してきたことにより、健全性が保たれていることから、第2期計画までの耐用年数の考え方を見直し、目標供用期間を設定することで、更新時期を延長します。

2) 橋梁点検結果の蓄積に基づく劣化予測の精度更新

過去10年間蓄積した定期点検の結果を元に精度の高い劣化予測を実施します。

3) 新技術活用および撤去・集約化による事業費削減目標の設定

3 橋梁の現状

3-1 橋梁数と老朽化状況

第2期計画では539橋でしたが、第3期計画は他機関から移管された橋梁を追加し、548橋を対象とします。

一般的に、老朽化の目安となる建設後の経過年数が50年を超えている高齢化橋梁が約21%、5年以内に経過年数が50年以上となる橋梁が最も多く見られます。

よって、10年後には高齢化橋梁は約70%、20年後には約92%となり、ほとんどの橋梁が50年以上の経過年数になります（図5）。

しかしながら、既往の研究においては、適切な維持管理を行うことで架設から100年間、供用可能な状態を維持できるとされています。

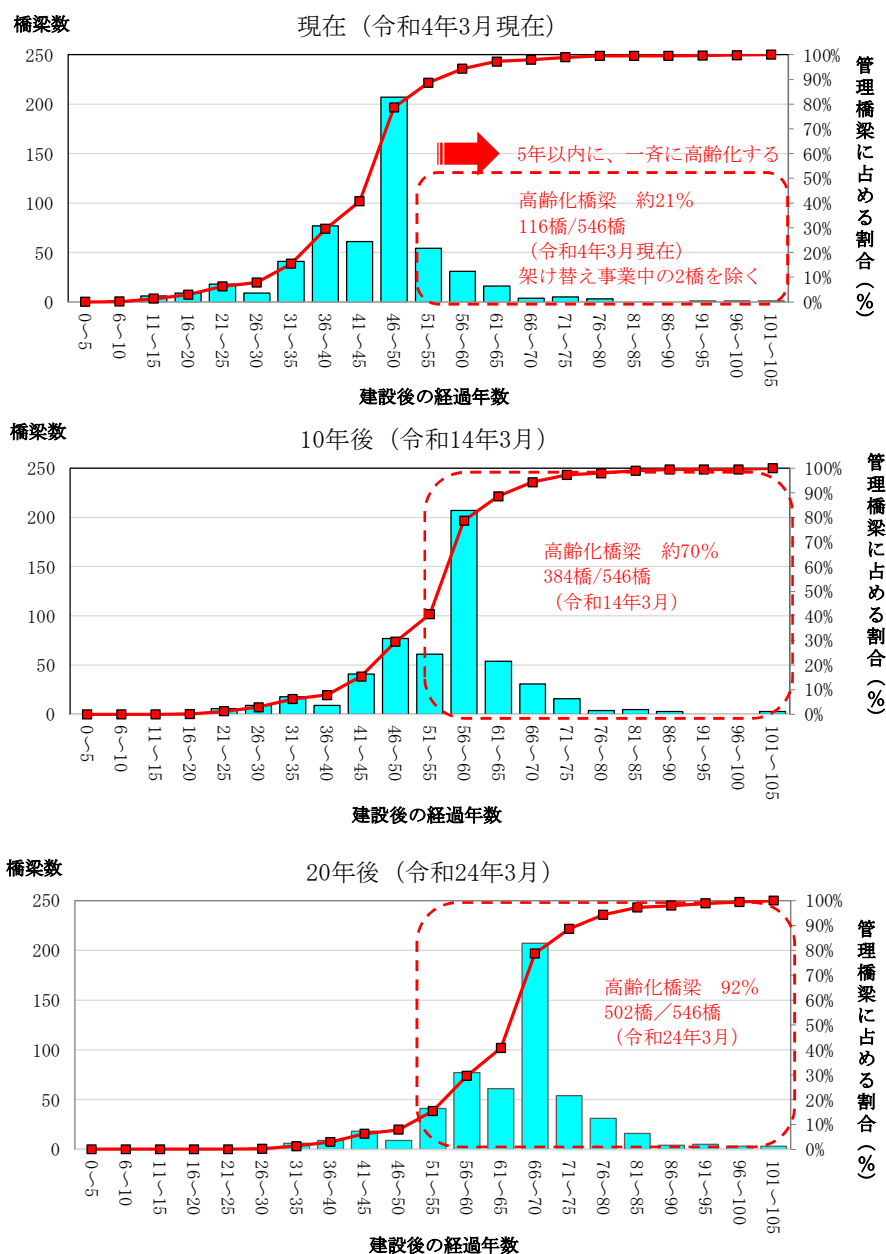


図5 架設後経過年数別の橋梁数の分布

3-2 橋梁の現状

本市の道路延長は、現在約 3,355km（令和 2 年 4 月 1 日時点）であり、このうち約 18km（548 橋）が橋梁となっております。コンクリートを主要材料とするコンクリート橋梁やボックスカルバートが多いこと、鉄道や道路を跨ぐ橋梁が多いことが特徴となっています。

【橋種別の橋梁数】

橋梁を橋種別（上部工の使用材料別）に表したものが右のグラフです。プレストレスコンクリート橋や鉄筋コンクリート橋、ボックスカルバートなどコンクリートを主な材料とする橋梁が全体の約 8 割を占めます（図 6）。

近年、コンクリート片の剥落事故に見られるように、コンクリート橋の老朽化対策の必要性は高まっています。

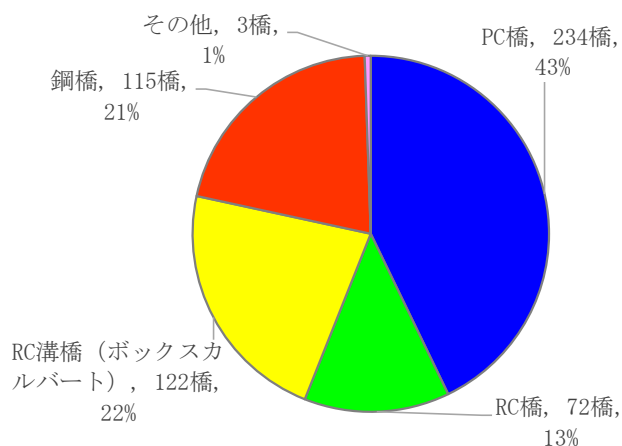


図 6 橋種別の橋梁数

【橋長別の橋梁数】

橋梁を橋長別に分類したものが右のグラフです。橋長 15m 未満の小規模橋梁が 281 橋、15m 以上の橋梁は 265 橋で、橋梁数はおよそ半々となっています（図 7）。

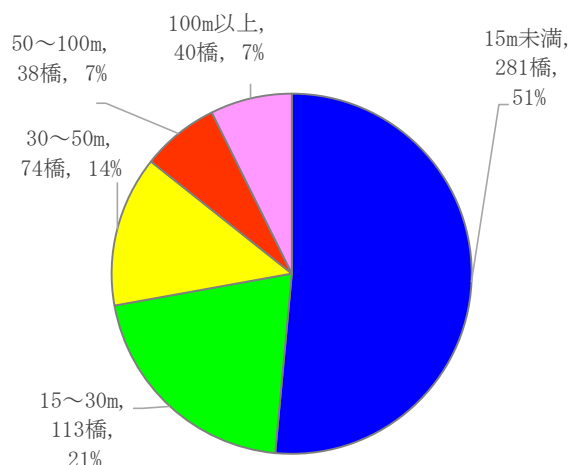


図 7 橋長別の橋梁数

【緊急輸送道路の指定状況の割合】

緊急輸送道路に架かるか、跨いでいる橋梁を整理したものが右のグラフです（図 8）。

緊急輸送道路とは、災害時の救助・救援活動や緊急物資輸送にとって必要となる極めて重要な路線です。

この路線に位置する橋梁やこれを跨ぐ橋梁の全体に占める割合は 2 割程度ですが、緊急時に備え、安全に使用できる状態にしておく必要があります。

指定なし、
420 橋、77%

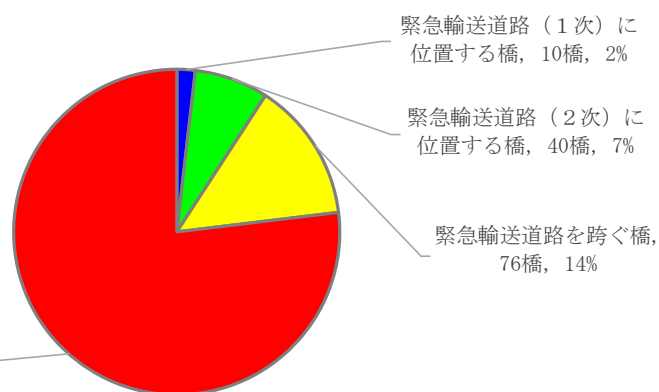


図 8 緊急輸送道路の指定状況の割合

【桁下状況の割合】

橋梁の桁下の状況別に表したものが右のグラフです。

桁下が、J R や京成電鉄などの鉄道や東関東自動車道や京葉道路などの道路として利用されている橋梁は、全体の約 3 割程度あります（図 9）。

これらの橋梁は、橋梁の損傷に伴ってコンクリート破片などが落下し、桁下を利用する第三者へ被害を与える危険性があることから、特に入念な老朽化対策を行っていく必要があります。

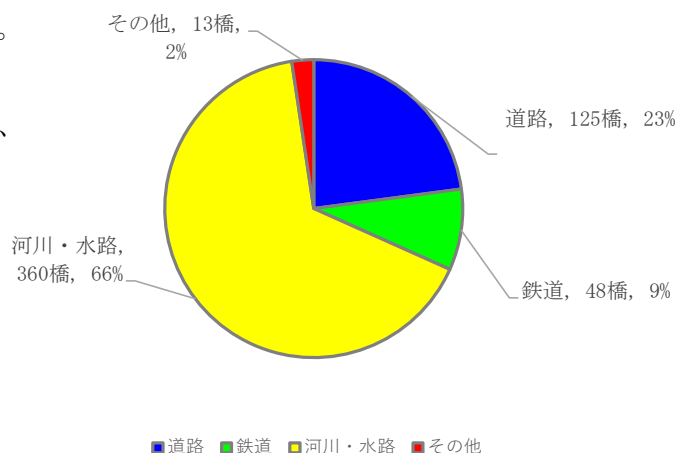


図 9 桁下状況の割合

3-3 点検結果の整理

第2期点検結果を、上部工（鋼部材、コンクリート部材）、コンクリート床版、下部工それぞれに整理したものが、次のとおりです。

（1）鋼桁の点検結果

鋼桁の点検結果をまとめたものが下のグラフです。

概ね損傷がなく、健全な状態にありますが、全部材のうち24%の部材で何らかの損傷があり、その内、早期に措置をする必要のある部材が全体の3%あります（図10）。

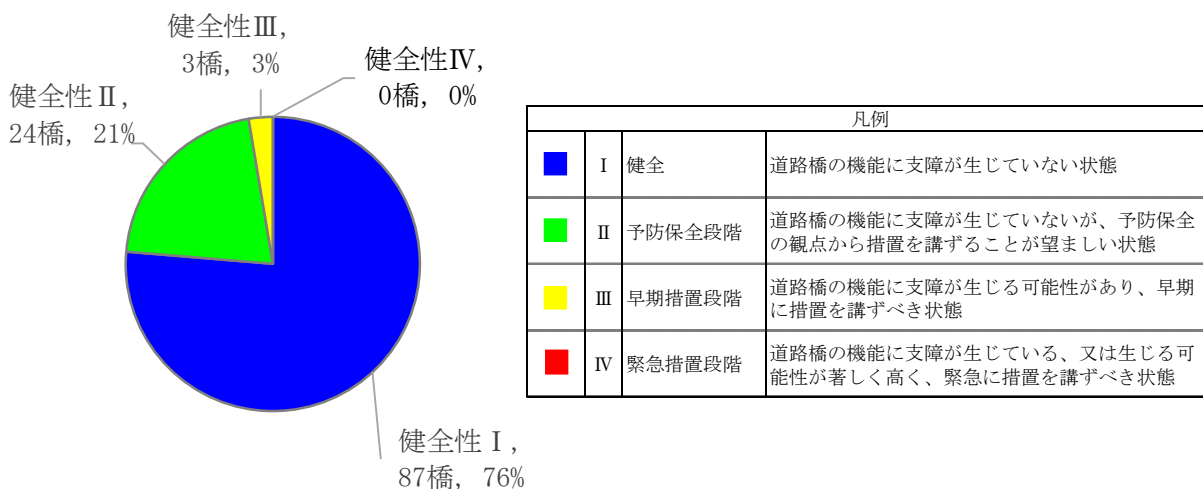


図10 鋼桁の健全性

（2）コンクリート桁の点検結果

プレストレスコンクリート橋及び鉄筋コンクリート橋のコンクリート桁、ボックスカルバートの頂版の点検結果をまとめたものが下のグラフです。概ね損傷がなく、健全な状態にありますが、全部材のうち24%の部材で何らかの損傷があり、早期に措置をする必要のある部材が全体の2%あります（図11）。

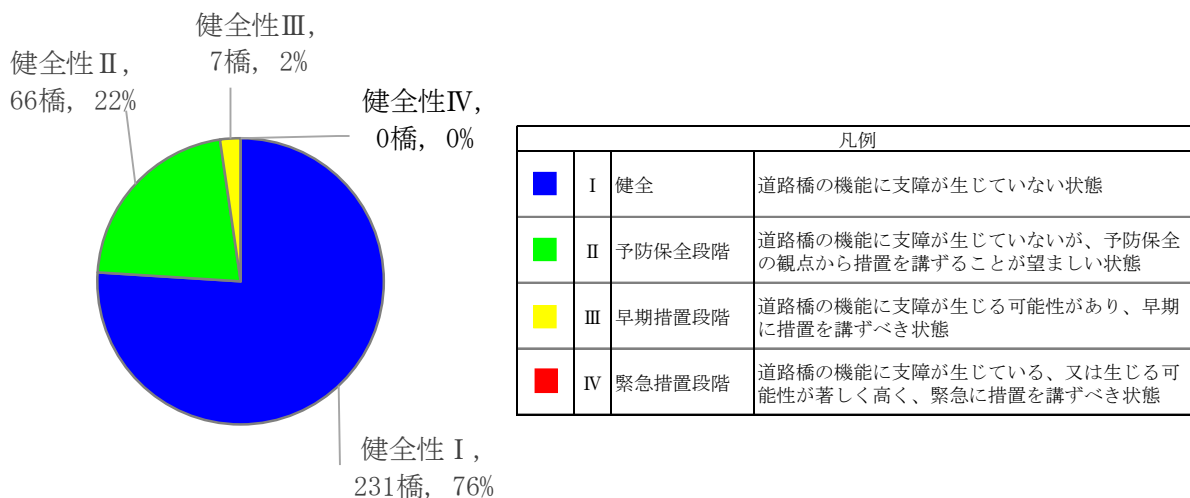
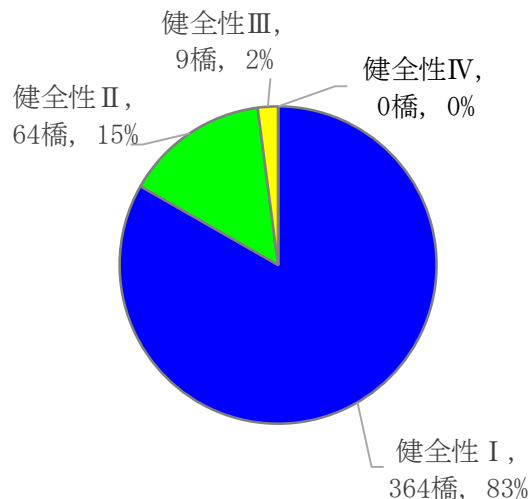


図11 コンクリート桁の健全性

(3) コンクリート床版の点検結果

コンクリート床版の点検結果をまとめたものが下のグラフです。

概ね損傷がなく、健全な状態にありますが、全部材のうち 17%の部材で何らかの損傷があり、早期に措置をする必要のある部材が全体の 2%あります（図 12）。



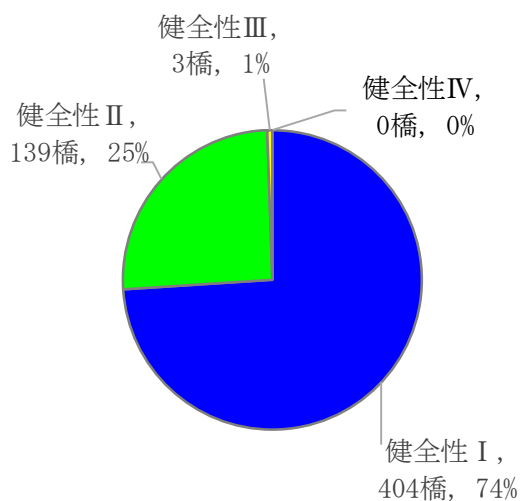
凡例			
■	I	健全	道路橋の機能に支障が生じていない状態
■	II	予防保全段階	道路橋の機能に支障が生じていないが、予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい状態
■	III	早期措置段階	道路橋の機能に支障が生じる可能性があり、早期に措置を講ずべき状態
■	IV	緊急措置段階	道路橋の機能に支障が生じている、又は生じる可能性が著しく高く、緊急に措置を講ずべき状態

図 12 コンクリート床版の健全性

(4) 下部工の点検結果

下部工の点検結果をまとめたものが下のグラフです。

下部工についても概ね損傷がなく、健全な状態にありますが、全部材のうち 26%の部材で何らかの損傷があり、早期に措置をする必要のある部材が全体の 1%あります（図 13）。



凡例			
■	I	健全	道路橋の機能に支障が生じていない状態
■	II	予防保全段階	道路橋の機能に支障が生じていないが、予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい状態
■	III	早期措置段階	道路橋の機能に支障が生じる可能性があり、早期に措置を講ずべき状態
■	IV	緊急措置段階	道路橋の機能に支障が生じている、又は生じる可能性が著しく高く、緊急に措置を講ずべき状態

図 13 下部工の健全性

橋梁の主要部材の点検結果から、管理橋梁は概ね健全な状態でありましたが、一部の橋梁では損傷が発生しており、早期に措置が必要な部材が含まれていることが判明しました。

4 維持管理方針

本市（道路管理者）は、橋長 2m の小規模な橋梁から橋長 200m を超える大規模な橋梁、小さな水路を跨ぐ橋梁から鉄道や高規格道路を跨ぐ橋梁など、多様な橋梁を管理しています。

これらの橋梁を一律の基準で管理することは効率的ではないため、橋梁の特性（橋梁規模、架橋位置、路線の重要度）に応じて維持管理方針を定め、合理的な維持管理を実施します。

4－1 維持管理方法の設定

橋梁の維持管理方法は、「予防保全型」、「事後保全型」、「政策保全型」の 3 分類に分け、以下のとおり定義します（表 2）。

また、橋面（舗装、高欄等）については、損傷程度に応じて適宜、修繕を行います。

表 2 維持管理方法の設定

維持管理方法	具体的な管理内容
予防保全型	損傷が小さいうちに、予防保全的な修繕を行うことで、施設の長寿命化を図る管理方法。修繕時期は、部材の劣化予測に基づいて設定する。
事後保全型	定期点検により状態を確認しながら、施設の安全性を確保のうえ、使用限界に達した段階で更新する管理方法。
政策保全型	都市計画事業等に合わせ、更新等の時期を計画する管理方法。

4－2 橋梁のグルーピング

橋梁の特性（橋梁規模、架橋位置、路線の重要度など）に応じて、グルーピングを行います。

グルーピングに際しては、Ⅰ～Ⅴまで順次該当する橋梁を選定します（表 3）。

表 3 橋梁のグルーピング

グループ	橋梁の特性	指標
Ⅰ	第三者への影響が大きい橋梁	跨線橋、跨道橋
Ⅱ	地域防災上の重要度が高い橋梁	緊急輸送道路指定（1 次・2 次・3 次）
Ⅲ	交通量が多い橋梁	千葉市管理道路の分類が、分類 B および分類 C（※）に該当する路線に架かる橋梁
Ⅳ	橋梁規模が大きい橋梁	Ⅰ～Ⅲ以外の橋長 15m 以上
Ⅴ	その他（橋梁）	Ⅰ～Ⅳ以外の橋梁

※千葉市道路舗装維持管理計画（第 2 期）による路線重要度による分類

4－3 点検方法

橋梁の点検は、「通常点検」、「定期点検」、「特定点検」、「異常時点検」に区分します（表 4, 5）。

点検を計画的かつ継続的に実施することにより、橋梁の状態を早期かつ的確に把握し、早期に維持修繕を実施していくことで、常に橋梁が良好な状態であることを目指します。

表 4 点検体系

	点検種類	概要	頻度
定期	通常点検	全ての橋梁を対象に行う日常点検	道路パトロールの頻度による
	定期点検 A	おもに専門技術者に委託を行い実施	原則 5 年に 1 回
	定期点検 B	おもに職員による点検を実施	原則 5 年に 1 回
非定期	特定点検	剥落防止工未実施の跨線橋等を対象に打音検査を実施	非定期
	異常時点検	全ての橋梁を対象に、災害発生後に実施	非定期

表 5 定期点検における健全性の指標

区分		状態
I	健全	道路橋の機能に支障が生じていない状態
II	予防保全段階	道路橋の機能に支障が生じていないが、予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい状態
III	早期措置段階	道路橋の機能に支障が生じる可能性があり、早期に措置を講ずべき状態
IV	緊急措置段階	道路橋の機能に支障が生じている、又は生じる可能性が著しく高く、緊急に措置を講ずべき状態

出展：橋梁定期点検要領（平成 31 年 3 月 国土交通省道路局 国道・技術課）

4-4 維持管理方針の設定

維持管理方針は引き続き、第2期計画と同一の管理方法、グループとします。

本計画では、計画的な維持管理を行うことで、橋梁を長寿命化し、維持管理のコスト削減を図ることを基本方針としています。

しかしながら、市内には多様な橋梁があり、生活道路などに架かる小規模橋梁は、一般的に架け替え時の工事規模が小さく工期的にも交通に与える影響が小さいことや、架け替えに係る事業費の規模も小さいことから、一律の管理は効率的でないため、従来どおりの管理としました。

なお、政策保全型は、グループに関わらず、各橋梁の状況により設定します。

表6 維持管理方針

管理方法	グループ	橋梁の特性	管理方針
予防保全型	I	第三者への影響が大きい橋梁	剥落等による第三者への被害防止の観点から、予防保全型の管理を行う。
	II	地域防災上の重要度が高い橋梁	緊急時の輸送路を確保するため、予防保全型の管理を行う。
	III	交通量が多い橋梁	架け替え時、交通に与える影響が大きいため、予防保全型の管理を行う。
	IV	橋梁規模が大きい橋梁	架け替え時の工事規模・影響が大きいため、予防保全型の管理を行う。
事後保全型	V	その他（橋梁）	安全を確保しながら、使用限界に達した段階で架け替えを行う。

（1）予防保全型

グループ I 第三者への影響度が大きい橋梁

剥落等による第三者への被害を防止するため、予防保全型の管理により、計画的な修繕・架け替えを行います（写真13,14）。



写真13 稲毛陸橋



写真14 今井陸橋

グループⅡ 地域防災上の重要度が高い橋梁

緊急時の輸送路を確保するため、予防保全型の管理により、計画的な修繕・架け替えを行います。(写真 15, 16)



写真 15 メッセ大橋



写真 16 美浜大橋

グループⅢ 交通量が多い橋梁

架け替え時、交通に与える影響が大きいため、予防保全型の管理により、計画的な修繕・架け替えを行います(写真 17, 18)。



写真 17 若葉 2 号橋



写真 18 磯辺橋

グループⅣ 橋梁規模が大きい橋梁

架け替え時の工事規模・影響が大きいため、予防保全型の管理により、計画的な修繕・架け替えを行います(写真 19, 20)。



写真 19 真砂大橋



写真 20 高洲橋

（２）事後保全型

グループⅤについては、以下に示す理由により、施設の安全性を確保しますが、修繕は必要最小限にとどめ、使用限界に達したら架け替える管理方法とします（写真 21, 22）。



写真 21 今井 2 号橋



写真 22 稲毛 7 号橋

- ・橋梁規模が小さいため、架け替えに際して仮橋の設置が容易であるほか、一般的に工事規模が小さく工期的にも周辺への影響及び交通に与える影響が小さい。
- ・架け替えに係る事業費の規模が比較的安価であるため、予防保全型の管理による長寿命化のメリットが小さい。

（３）政策保全型

設定したグループに係わらず、都市計画事業等による計画と整合を図り、各橋梁の状況に応じた管理を行います。

（４）予防保全型管理橋梁における主要部材以外の損傷について

橋梁の健全性は主要部材の損傷度を基に判定します。主要部材以外の損傷は橋梁全体の健全性判定から除外しますが、主要部材の補修時に合わせて補修することで効率化を図ることを基本とし、緊急性がある場合は、優先的に補修を実施します。

5 橋梁の更新

橋梁は、道路網を構成する重要な構造物であり、架け替えや大規模修繕によって、道路としての機能が一時的にでも失われることが極力ないように設計することを基本的な考えとしています。

しかしながら、将来事業費を予測するうえでは、耐久性と時間の概念が必要であり、適切な維持管理を行ううえで、橋梁が良好な状態を維持する期間を設定する必要があります。

なお、現行の道路橋示方書では、耐久性に関する目標期間を 100 年と設定しています。また、過去の道路橋示方書を基に設計された橋梁についても、これまでの補修により健全性が維持されています。

そこで、本計画では、適切な維持管理を行ったうえで、橋梁が良好な状態を維持できる期間（目標供用期間）を以下のとおり設定しました。

橋梁を長寿命化し、良好な状態を維持する目標供用期間

予防保全型管理の橋梁については、適切な維持管理を行うことで、100 年を目標に橋梁を長寿命化させる。

また、維持管理区分ごとの目標供用期間は以下のとおりとします。なお、目標供用期間は、「自治体管理・道路橋の長寿命化修繕計画（仮称）計画策定マニュアル（案）」（国土交通省資料）および「橋梁の架替に関する調査結果（Ⅴ）」「橋梁の寿命推計に関する調査研究」（国土交通省 国土技術政策総合研究所）を参考に設定しました（表 7）。

表 7 維持管理方法ごとの橋梁の目標供用年数

維持管理方法	橋種・環境	目標供用期間
予防保全型	鋼橋	100 年
	コンクリート橋 ・ 海岸部（塩害地域）	100 年
	コンクリート橋 ・ 一般部（塩害地域外）	100 年
事後保全型	鋼橋	60 年
	コンクリート橋 ・ 海岸部（塩害地域）	50 年
	コンクリート橋 ・ 一般部（塩害地域外）	75 年

6 劣化予測の手法

計画的な維持管理を行うためには、いつ、どの部材が、どの程度損傷するかを予測したうえで対策を計画する必要があります。そこで、将来、部材に生じる損傷を予測する劣化予測モデルを設定します。定期点検は道路橋単位で総合的に健全性を評価するのに対し、劣化予測は部材単位の健全度で評価を実施します。

6-1 劣化予測モデル（劣化曲線）の設定手法

劣化予測モデルは、平成 28 年度から令和 2 年度までに実施した橋梁点検の結果をもとに、橋梁の健全度と経過年数の関係を統計分析により作成します。

橋梁の部材による劣化の違いを反映させるため、統計分析は、以下のように分類します(表 8)。

表 8 部材による分類

部材名	構造形式	部材数
鋼主桁		283
鋼床版		106
鋼橋Co床板		177
Co主桁	RC橋	103
	PC橋	380
Co床板	BOXカルバート	150
	RC橋	57
	PC橋	308
下部工	RC製	1442
	鋼製	22

以上の分類毎に橋梁点検の結果から求めた近似曲線（2 次曲線）を劣化曲線として設定します(図 14)。

劣化予測のイメージ

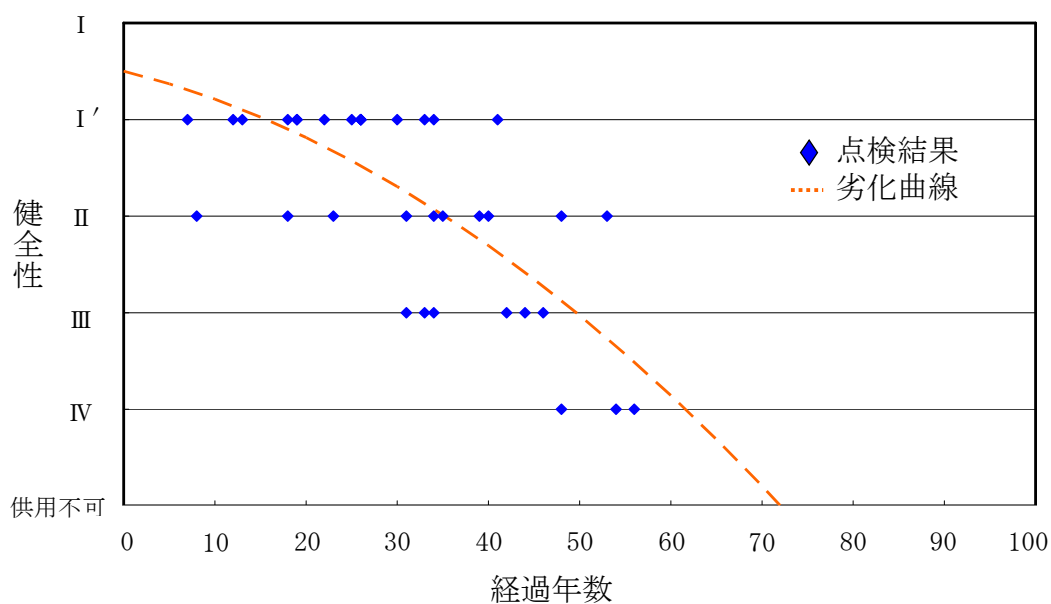


図 14 劣化予測モデルのイメージ

6-2 劣化曲線の設定

(1) 鋼橋上部工の劣化曲線

点検結果に基づく健全度をグラフ化し、劣化曲線を設定したものです。

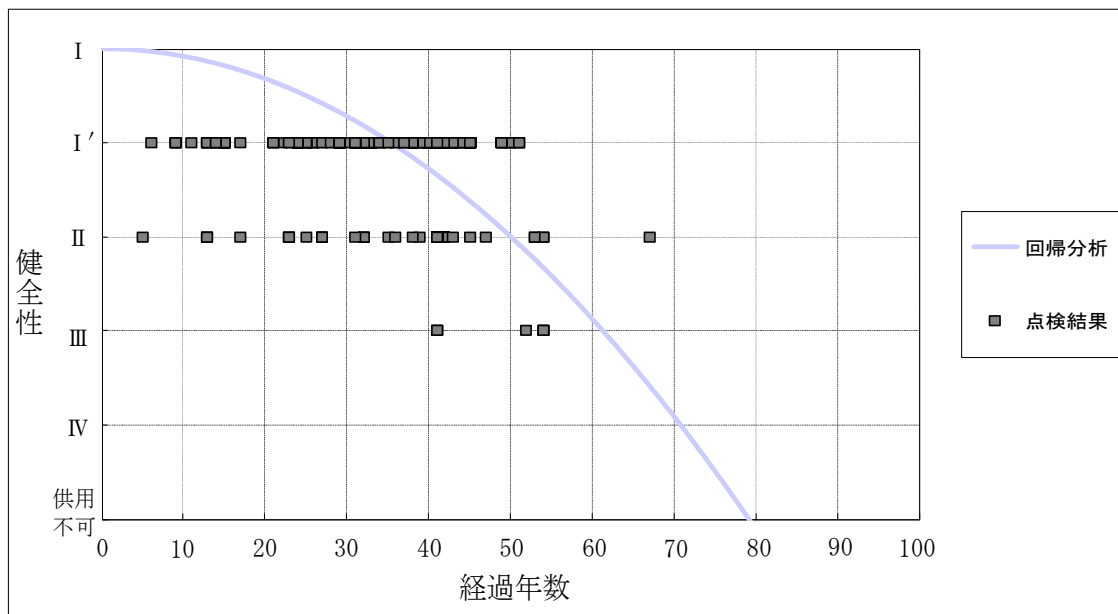


図 15 劣化曲線（鋼橋上部工）

(2) 下部工（RC）の劣化曲線

点検結果に基づく健全度をグラフ化し、劣化曲線を設定したものです。

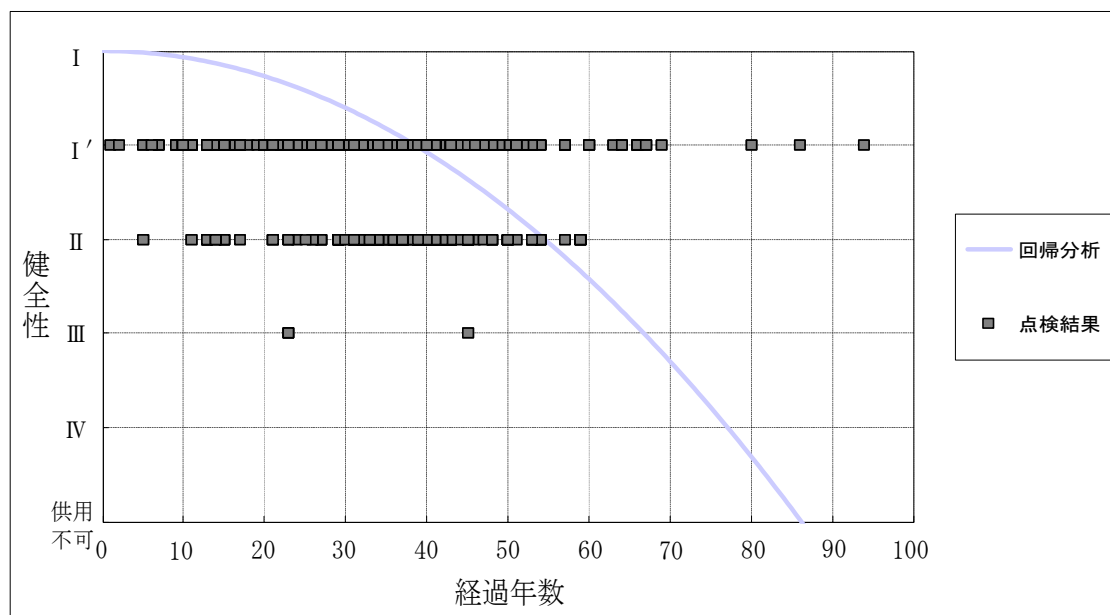


図 16 劣化曲線（下部工(RC)）

6-3 劣化曲線の補正方法

劣化の進行速度は、各橋梁の状況により異なってくることから、劣化曲線は個々の橋梁の各部材ごとに設定することとします。

6-1、6-2により設定した劣化曲線を初期値として、各橋梁の実際の点検結果に応じて補正します。

劣化曲線の初期値と実際の点検結果を比較し、初期値より損傷が進行していない場合は、点検結果1のとおり補正を行い、初期値より損傷が進行している場合は、点検結果2のとおり補正します。この補正を、全ての部材に対して行います。

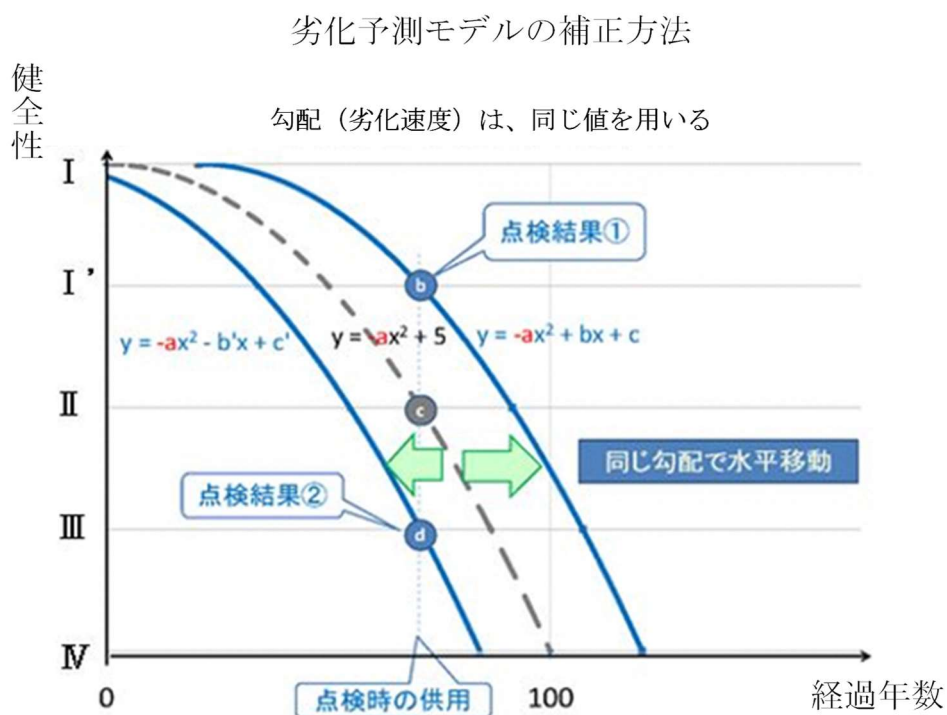


図 17 劣化曲線の補正のイメージ

7 事業費予測の手法

7-1 事業費予測の基本的考え方

「4 維持管理方針」から「6 劣化予測の手法」までに設定した条件のもと、中長期における橋梁の維持管理に係る事業費を算出します。

本計画における橋梁の維持管理に係る事業費とは、計画期間内に必要となる「維持管理費（定期点検費を含む）＋更新費」です（表9）。

表9 事業費の算出

維持管理費	Σ （部材ごとの修繕費）＋設計費＋定期点検費
更新費	更新費＋旧橋撤去費＋仮橋費

なお、維持管理費における修繕費は、劣化予測に基づく主部材の修繕費を計上することとします。

7-2 評価単位の設定

事業費予測における事業費算出の単位は、橋梁点検における部材を評価した単位に基づき設定します。この単位（評価単位）が本計画における修繕工事の実施単位となります。

橋梁点検における部材の評価は、「道路橋定期点検要領」に基づき行いました（表10）。

表10 事業費の算出の単位

上部構造			下部構造	支承部	その他
主桁	横桁	床版			

状態の把握についても「道路橋定期点検要領」に基づき行いました（表11）。

表11 健全性の判定区分

区分		定義
I	健全	道路橋の機能に支障が生じていない状態
II	予防保全段階	道路橋の機能に支障が生じていないが、予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい状態
III	早期措置段階	道路橋の機能に支障が生じる可能性があり、早期に措置を講ずべき状態
IV	緊急措置段階	道路橋の機能に支障が生じている、又は生じる可能性が著しく高く、緊急に措置を講ずべき状態

出展：橋梁定期点検要領（平成31年3月 国土交通省道路局 国道・技術課）

7-3 対策工法（修繕内容）と効果の設定

健全度に応じた対策工法（修繕内容）とその効果を設定します。

設定に当たっては、「コンクリート標準示方書 維持管理編」などの文献を参考に、一般的に最も効果的と考えられる工法を設定しました。なお、実際の修繕に当たっては、詳細な点検・調査により橋梁個別に補修工法を決定します。

以下に設定した対策工法（修繕内容）と基本的な考え方を示します（表 12, 13）。

表 12 各部材の対策工法

部材	材料	対策工法	部材	材料	対策工法
主桁	鋼	塗装塗替え	床板	RC	床板防水
		当て板補強			表面含浸
	RC・PC	表面含浸			ひびわれ注入
		ひびわれ注入			断面修復
		断面修復			炭素繊維接着
		炭素繊維接着	支承	支承	支承再塗装
橋台 橋脚	コンクリート	ひびわれ注入	伸縮装置	伸縮装置	伸縮装置取替工
		断面修復			
		Co 巻き立て			

表 13 対策設定の基本的な考え方

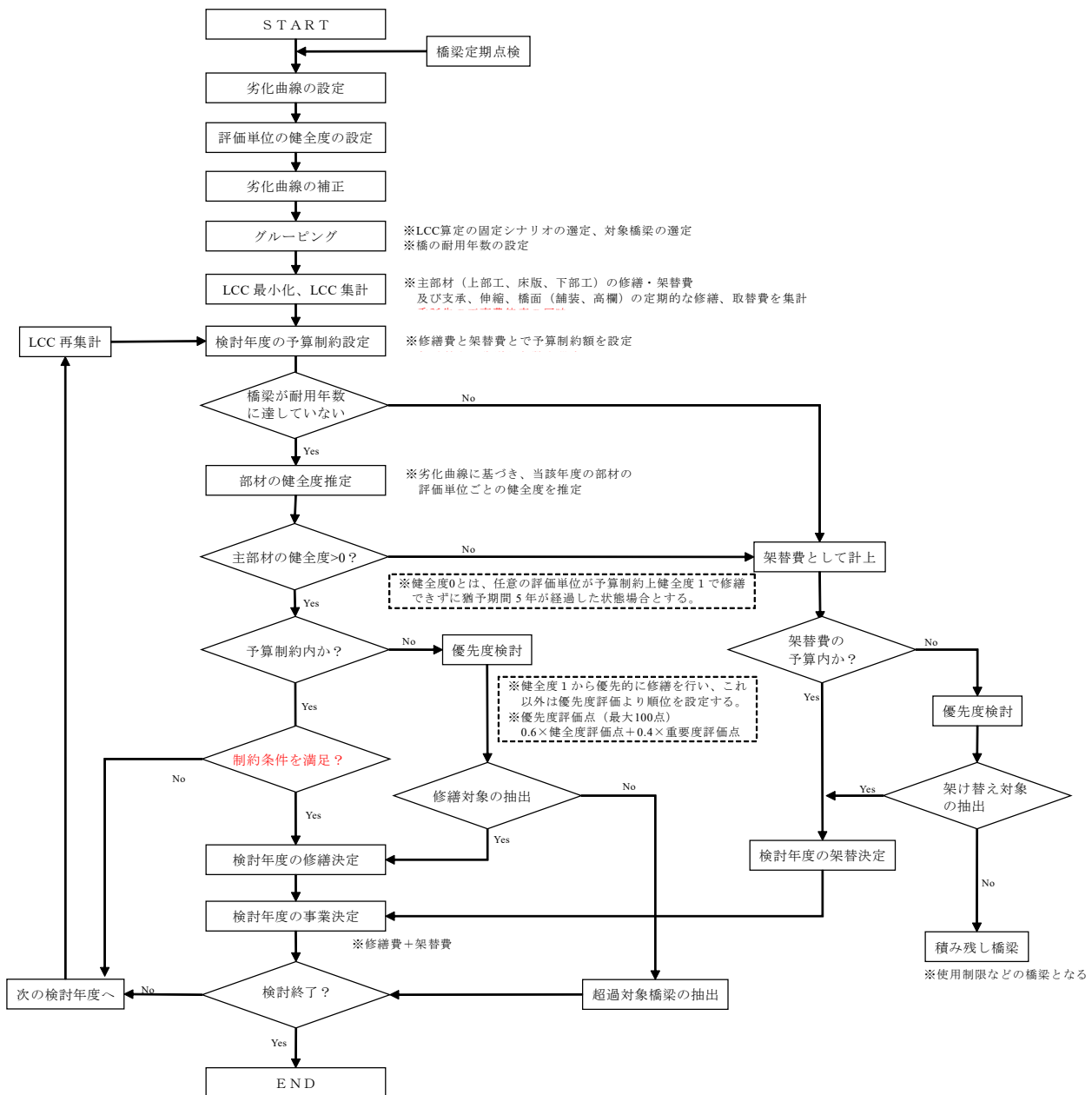
部材		対策設定内容の基本的な考え方
主構造	鋼	・基本的に全面的塗装塗替えを想定する。 ・母材の腐食（減厚・孔食）が想定される場合は、当て板補強を計上する。 ・なお、支承の塗り替えも同時に行うことを想定している。
	コンクリート	・表面含浸を行うことを基本とする。 ・ひび割れ注入および断面修復を想定する。 ・なお、著しい損傷の場合は、炭素繊維接着を計上する。
支承		・桁塗装を実施する際、支承に腐食が発生している場合は、併せて支承塗替えを計上する。 ・支承の交換が必要な損傷が発生しているものは、支承交換を計上する。
伸縮装置		・鋼製の伸縮装置など、交換が必要な損傷が発生している場合は、伸縮装置取替を計上する。

7-4 平準化と優先度評価

将来事業費を算出した場合、年度ごとで必要となる事業費にバラつきが生じます。

橋梁を維持管理していく予算は限られていることから、本計画をより実行性のあるものとしていくために、予算制約を設けたうえ、事業費を平準化していく必要があります。

事業費を平準化するまでのフローを以下のとおり設定します（図 18）。



8 計画による効果

8-1 維持管理シナリオの設定

将来事業費を算出する場合、修繕をどの段階で行うかにより大きな差が生じます。
維持すべき健全性を管理水準とした維持管理シナリオを以下のとおり設定しました（表 14）。

表 14 維持管理シナリオ一覧

維持管理方法	管理水準	内容
予防保全型（図 19）	健全性Ⅱ	管理水準を健全性Ⅱとし、損傷が軽微な段階で対策を行うシナリオ（健全性Ⅲは速やかに修繕するため、健全性Ⅱを管理水準とする。）
事後保全型（図 20）	—	修繕を必要最小限にとどめ、安全を確保しながら、使用限界に達した段階で架け替えを行うシナリオ

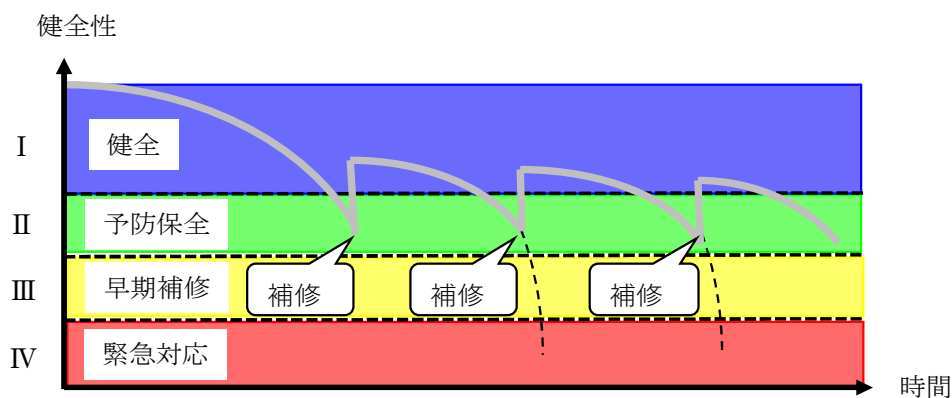


図 19 予防保全型イメージ

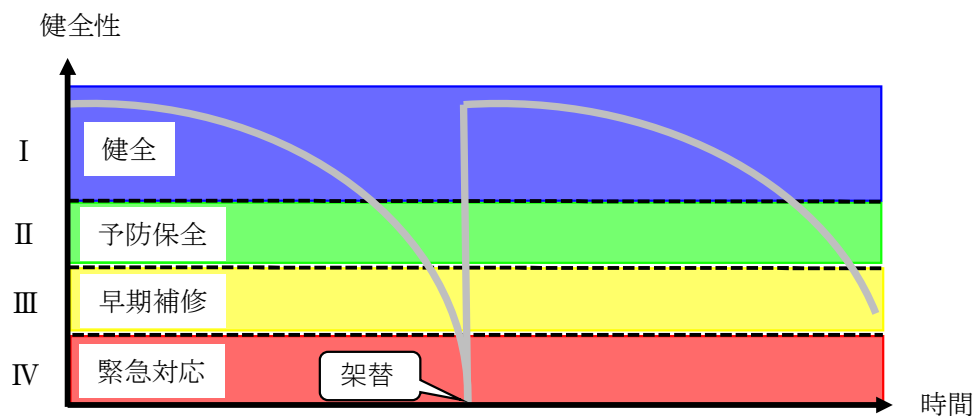


図 20 事後保全型イメージ

8-2 事業費予測における条件整理

(1) 維持管理シナリオの適応

維持管理方針で設定した各グループについて、8-1で設定した維持管理シナリオを以下のとおり適応します（表15）。適応に当たっては、LCC（ライフサイクルコスト）が最小となることを基本とします。

表15 橋梁グルーピング結果

グループ	橋梁の特性（対象数）	維持管理シナリオ
I	第三者への影響が大きい橋梁 (182 橋)	予防保全型 (345 橋)
II	地域防災上の重要度が高い橋梁 (33 橋)	
III	交通量が多い橋梁 (77 橋)	
IV	橋梁規模が大きい橋梁 (53 橋)	
V	その他（橋梁） (203 橋)	事後保全型 (203 橋)

(2) 条件整理

- 予防保全型（345 橋）、事後保全型（203 橋）の事業費予測
 - ・対象橋梁数：全 548 橋
 - ・計画期間：2022 年から 2066 年まで
 - ・維持管理区分：4-4 維持管理方針の設定
 - ・劣化予測：6-2 劣化曲線の設定
 - ・対策工法：7-3 対策工法（修繕内容）と効果の設定
 - ・修繕時期：8-1 維持管理シナリオの設定
 - ・目標供用期間：5 橋梁の更新

8-3 計画による効果

第2期計画では、2026年から16億円/年、2041年から27億円/年の事業費を見込んでいましたが、第3期計画では、より実効性のある計画として、過去5年間の事業費（10億円/年）で計画を継続できるように事業費の平準化を図りました（図21）。

本計画では総事業費540億円（今後20年間で10億円/年、その後10年間は12億円/年、14億円/年、最後の5年間は16億円/年）としており、今後も計画を確実に実施し、橋梁の長寿命化に努めます。（2029年以降は事後保全型（橋長15m未満）の橋梁の更新費用を含みます。）

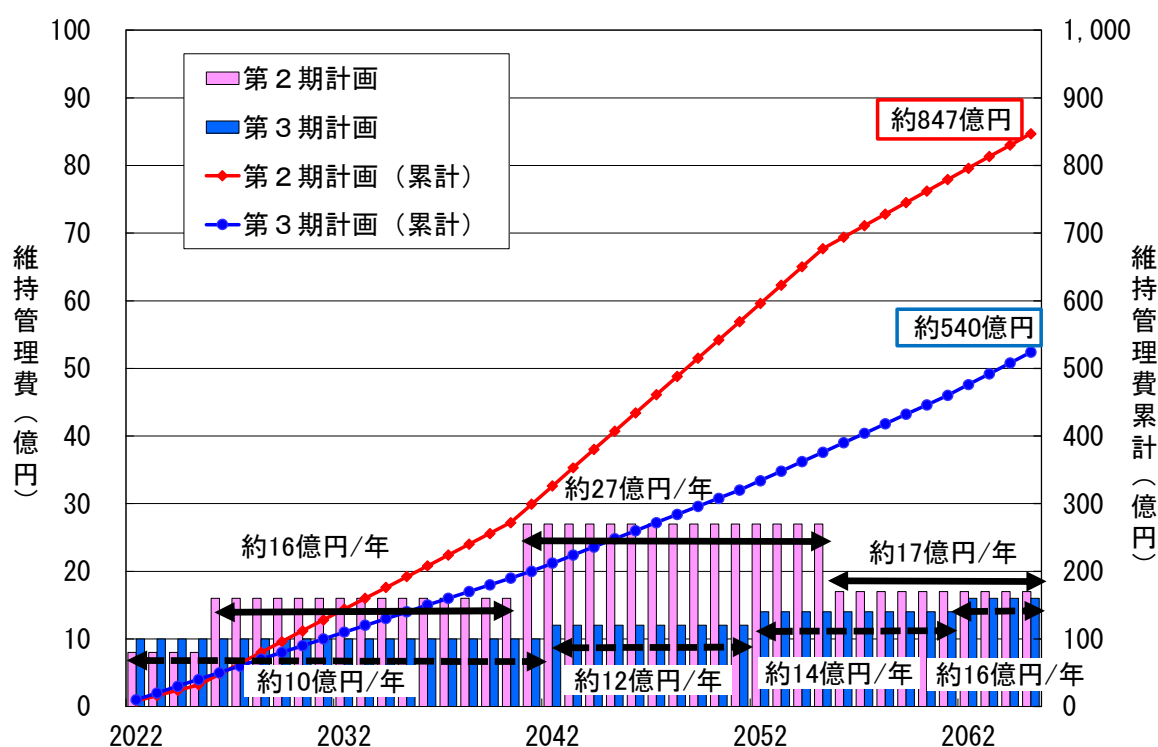


図 21 計画による効果

9 新技術等の活用

本計画では、橋梁点検および橋梁補修工事において、新技術や新工法を積極的に取り入れることにより、より安全で、より効率的に、より経済的な橋梁の維持管理に努めます。

9-1 橋梁点検における新技術の活用

新技術として、画像計測技術を積極的に採用していきます。

画像計測技術は、橋梁点検車や高所作業車を利用する場所、桁下空間が狭く狭隘な箇所での近接目視の代替手段として用いられます。

ドローンや高解像度カメラなどを用い、離れた場所から画像を撮影、その画像を用いて診断することができます。

今後実施する橋梁点検において、積極的に新技術を活用するために、大型橋梁点検車、吊り足場、ロープアクセス技術を用いて点検を行う必要がある橋梁（跨線部・跨道部を除く）について、ドローン点検を積極的に活用していきます。



写真 23 大型橋梁点検車（BT-400） 出展：国土交通省 関東地方整備局ホームページ

本市が管理する 548 橋梁のうち、13 橋においてドローンを用いた橋梁点検を実施、今後 5 年間で約 7,000 千円の事業費削減を目指します。

参考に国土交通省が取りまとめる「点検支援技術性能カタログ（案）」令和３年１０月版に記載されている点検支援技術をいくつか示します。

非GPS環境対応型ドローン及びポールカメラを用いた近接目視点検支援技術（BR010015-V0221）（※下図参照）



写真 24 新技術（非GPS環境対応型ドローン）

9-2 補修工事における新技術の活用

今後実施する橋梁補修工事において、新技術の導入により、事業費削減を目指します。

補修工事は、橋梁の損傷状況や環境により適用条件が異なるため、本市で実績の多い錆転換型の塗装塗り替え工事を活用することとしました。

本市では、NETISなどを参考に、個別橋梁の対策事業の際に、新技術の活用検討を行い、事業費削減に取り組んでいます。

黒錆転換型重防食塗装の事業費削減額は25%以上（NETIS）となります。第3期計画の短期計画（今後10年間）で塗装塗替工事に必要な事業費は約12億円となり、すべての塗装塗替工事に新技術を導入した場合、必要な事業費は約9億円となります。

黒錆転換型重防食塗装以外にも各個別の橋梁の補修設計時に新技術を積極的に活用することにより、今後10年間の削減目標を3億円とします。

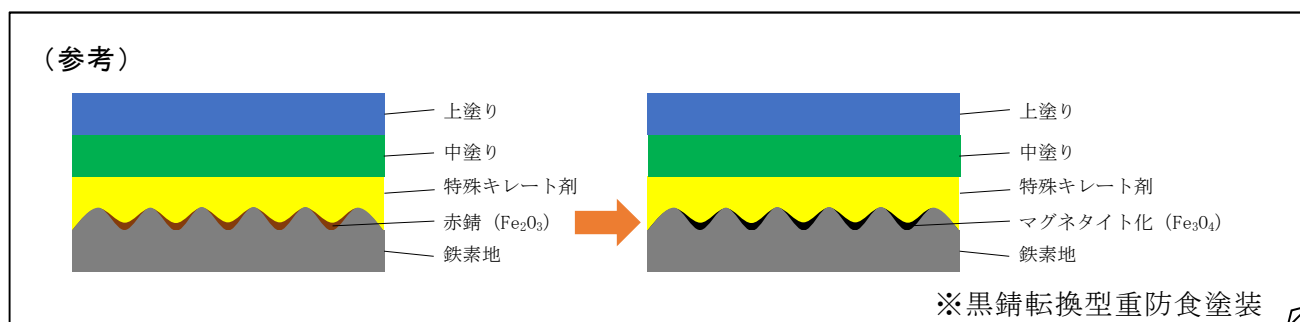


図 22 新技術（黒錆転換型重防食塗装）概要

10 撤去・集約化等による費用の縮減に関する方針

今後、高齢な橋梁が急速に増えることから、予防保全型の維持管理による事業費削減に加え、全体的なインフラ施設の削減も検討していく必要があります。

本市では今後の橋梁維持管理費の削減のため、撤去・集約化を検討し、撤去・集約化による地域住民へのサービス提供の低下を最小限に抑えつつ、対象となる橋梁を選定します。

- 維持補修を行うよりも撤去・集約化が有効となるか否か
- 利用者が少ないか否か
- 近傍に迂回道路が整備されているか否か
- 警察、近隣町内会など、関係者間の合意形成がなされているか否か

ただし、撤去・集約化の最終決定は、警察、近隣町内会等の関係者間の合意形成が図られなければ実施しません。なお、直近5年間は撤去・更新の予定はありません。

千葉市橋梁長寿命化修繕計画
(第3期)

令和4年9月
千葉市 建設局
土木部 土木保全課

対象橋梁ごとの概ねの次回点検時期及び修繕内容・時期又は架替時期

凡例：●点検，○修繕，□更新，▲設計

番号	橋梁名	路線名	橋長 (m)	架設 年度	点検 年次	点検 結果	対策の内容・時期									
							R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13
1	栄橋 1	国道14号	11.7	1992	R2	I				●				●		
2	海浜橋(下り線)	市道千葉臨海線	25.5	1989	R3	I					●				●	
3	海浜橋(上り線)	市道千葉臨海線	22	1980	R1	Ⅱ	▲	○	●				●			
4	磯浜大橋(上り線)	市道千葉臨海線	21.6	1976	R3	I					●				●	
5	磯浜大橋(下り線)	市道千葉臨海線	21.6	1976	R3	I					●				●	
6	美浜大橋(上り線)	市道千葉臨海線	177	1985	R3	I					●				●	
7	美浜大橋(下り線)	市道千葉臨海線	177	1985	R3	Ⅱ		▲		○	●				●	
8	幕西2丁目橋	市道中瀬幕張本郷線	14.76	1990	R3	Ⅱ					●				●	
9	幕張陸橋(上り線)	市道中瀬幕張本郷線	42.5	1989	R2	I				●				●		
10	幕張陸橋(下り線)	市道中瀬幕張本郷線	42.5	1989	R2	I				●				●		
11	潮見橋	市道中瀬幕張本郷線	43.2	1991	R1	I				●			●			
12	鉄砲塚跨線橋	市道中瀬幕張本郷線	205.5	1972	H29	Ⅱ	●▲	○	○			●				▲●
13	谷頭橋(上り線)	市道都賀駅千城台南線	168.5	1987	R1	Ⅱ				●				●		
14	谷頭橋(下り線)	市道都賀駅千城台南線	168.5	1987	R1	Ⅱ				●				●		
15	千城橋	市道都賀駅千城台南線	8.5	1968	R2	I				●					●	
16	都橋 1	市道中央今井町線	25	1993	R2	I				●					●	
17	末広3号橋	市道中央今井町線	4.5	1978	R2	I				●					●	
18	末広6号橋	市道中央今井町線	4.1	1978	R2	I				●					●	
19	稲毛陸橋	市道海浜公園稲丘町線	267.85	1979	R1	Ⅱ				●				●		
20	中央橋	市道京成千葉中央駅線	12.75	1990	R3	I					●					●
21	富栄橋	市道富士見加曾利町線	10.28	1993	R3	I					●					●
22	新港4号橋	市道新港穴川線	7.1	1971	H30	I			●				●			
23	みつわ台1号橋	市道源町桜木線	7	1978	R3	I					●					●
24	根崎橋(上り線)	市道源町桜木線	205	1987	R2	Ⅱ	○	○		●					●	
25	根崎橋(下り線)	市道源町桜木線	205	1987	R2	Ⅱ		▲	○	●○					●	
26	原陸橋	市道源町桜木線	155.2	1983	R3	Ⅱ					●					●
27	大森第1橋	市道加曾利町大森町線	10.6	1981	R1	Ⅱ				●		○		●		
28	もみじ橋	市道西千葉駅稲荷町線	10.5	1972	H30	I			●				●			
29	西千葉駅稲荷町2号橋	市道西千葉駅稲荷町線	5.37	1972	R2	I				●					●	
30	境橋 1	市道村田町 1 号線	53.82	1987	R2	Ⅱ				●					●▲	○
31	幕張台橋	市道幕張町弁天町線	33.02	1991	R1	I				●				●		
32	小仲台1号橋	市道幕張町弁天町線	11.5	1977	R3	I					●					●
33	新町若松町1号橋	市道新町若松町線	10.6	1978	H30	Ⅲ	○	●					●			
34	稲毛3号橋	市道磯辺茂呂町線	117.63	1981	R3	Ⅱ			○		●					●
35	稲毛1号跨線橋	市道磯辺茂呂町線	22	1979	H30	I			●				●			
36	稲毛2号跨線橋	市道磯辺茂呂町線	22	1979	H30	I			●				●			
37	小中台1号跨線橋	市道磯辺茂呂町線	22.1	1977	H30	I			●				●			
38	小中台2号跨線橋	市道磯辺茂呂町線	22.1	1977	H30	I			●				●			
39	小中台高架橋1号	市道磯辺茂呂町線	221	1980	H30	I			●				●			
40	小中台高架橋2号	市道磯辺茂呂町線	218	1980	H30	Ⅱ			●	▲		○		●		
41	坂月橋	市道磯辺茂呂町線	12.4	1968	H30	Ⅱ			●				●			
42	平山大橋	市道磯辺茂呂町線	18.9	1985	H30	Ⅱ			●				●			
43	小桜橋	市道桜木町小倉町線	30.2	1979	H30	I			●				●			
44	高洲中央港1号橋	市道高洲中央港線	13.1	1978	H30	I			●				●			

※点検結果は令和 4 年3月末現在

※今後、他機関から移管される橋梁については、移管時に点検、補修時期を設定することとする

凡例：●点検、○修繕、□更新、▲設計

番号	橋梁名	路線名	橋長 (m)	架設 年度	点検 年次	点検 結果	対策の内容・時期										
							R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14
45	検見川陸橋	市道磯辺畑町線	160.1	1973	R3	Ⅱ	○				●					●	
46	花園陸橋(JR)	市道磯辺畑町線	39.7	1977	H30	Ⅱ		●				●					
47	花園陸橋(京成)	市道磯辺畑町線	86	1977	H30	I		●				●					
48	幸町1号橋	市道松波新港線	269.5	1973	H30	I	▲	●○				●					
49	高磯1の橋	市道高洲打瀬線	22.9	1972	H30	Ⅱ		●	▲		○	●					
50	若葉第2号橋	市道高洲打瀬線	119.7	1985	R3	I					●					●	
51	若葉第1号橋	市道若葉高洲線	119.7	1985	H30	Ⅱ		●	▲		○	●					
52	高砂3の橋	市道若葉高洲線	22.9	1972	H30	Ⅱ		●				●					
53	君待橋	市道新田町村田町線	33	1972	R3	I					●					●	
54	今井5号橋	市道新田町村田町線	5.3	1966	H30	I		●				●					
55	新花見川橋	市道幕張町検見川町線	46	1965	R1	Ⅲ			●				●				
56	磯辺橋	市道磯辺打瀬線	123.2	1987	H30	Ⅱ		●				●					
57	西小中台陸橋	市道検見川町小中台町線	128	1979	H30	Ⅱ		●				●					
58	稲岸橋(自転車専用橋)	市道海浜1号線	16.58	1976	R3	I					●					●	
59	稲岸橋(歩行者専用橋)	市道海浜1号線	15.78	1976	R3	I					●					●	
60	川戸橋	市道仁戸名町平山町線	22.28	1982	H30	Ⅱ		●				●					
61	坊谷津橋	市道仁戸名町平山町線	52.85	1978	R1	Ⅱ			●				●				
62	立会橋	市道貝塚町宮崎町線	38.3	1987	H30	Ⅱ		●		▲		○	●				
63	宮崎第1跨線橋	市道貝塚町宮崎町線	12.3	1981	H30	Ⅲ		●○					●				
64	美和園橋	市道穴川横橋町線	6.7	1985	H30	I		●					●				
65	宮野木大橋	市道穴川横橋町線	182.05	1968	R1	I			●					●			
66	中芝橋	市道菅田町野呂町線	31.1	1978	R2	Ⅱ				●					●		
67	中ノリ橋	市道菅田町野呂町線	42.3	1977	R3	I					●					●	
68	古市場町1号橋	市道古市場町高田町線	2.3	1978	H30	I		●					●				
69	椎名崎町2号橋	市道古市場町高田町線	2.7	1978	H30	I		●					●				
70	水砂橋	市道菅田町平山町線	35.46	1977	R1	Ⅱ			●					●			
71	横戸町1号橋	市道横戸町64号線	8.6	1978	R3	Ⅱ					●					●	
72	弁天橋	市道横戸町78号線	96.6	1993	R2	Ⅱ				●					●		
73	宇那谷町4号橋	市道宇那谷町18号線	3.3	1978	R3	Ⅱ					●					●	
74	宇那谷町6号橋	市道宇那谷町40号線	2.45	1978	R1	Ⅱ			●					●			
75	宇那谷町5号橋	市道宇那谷町41号線	3	1978	R3	Ⅱ					●					●	
76	宇那谷町1号橋	市道宇那谷町42号線	4	1998	R3	Ⅱ					●					●	
77	宇那谷町3号橋	市道宇那谷町51号線	3.8	1978	R3	Ⅱ					●					●	
78	花島橋	市道三角町1号線	84	1954	R2	Ⅱ	▲	○		●					●		
79	本郷橋	市道横橋町30号線	7.6	1993	H30	I		●				●					
80	横橋町4号橋	市道横橋町35号線	4.35	1978	R1	Ⅲ			●○				●				
81	長作町1号橋	市道長作町31号線	3.48	1978	R1	Ⅱ			●				●				
82	長作町4号橋	市道長作町225号線	6	1978	R1	Ⅱ			●				●				
83	幕張14号橋	市道幕張136号線	7.1	1990	R3	Ⅱ					●					●	
84	幕張2号橋	市道幕張154号線	8.5	1989	R3	I					●					●	
85	幕張3号橋	市道幕張155号線	8.56	1988	R3	I					●					●	
86	幕張1号橋	市道幕張156号線	8.6	1990	R3	I					●					●	
87	幕張6号橋	市道幕張158号線	9.58	1988	R3	I					●					●	
88	幕張8号橋	市道幕張168号線	8.5	1987	R3	Ⅱ					●					●	
89	幕張10号橋	市道幕張168号線	7	1989	R3	Ⅱ					●					●	
90	幕張5号橋	市道幕張170号線	9.42	1988	R3	I					●					●	

※点検結果は令和4年3月末現在

※今後、他機関から移管される橋梁については、移管時に点検、補修時期を設定することとする

凡例：●点検、○修繕、□更新、▲設計

番号	橋梁名	路線名	橋長 (m)	架設 年度	点検 年次	点検 結果	対策の内容・時期										
							R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14
91	幕張7号橋	市道幕張178号線	10.06	1988	R3	Ⅱ					●					●	
92	幕張4号橋	市道幕張181号線	8.5	1988	H29	Ⅰ	●					●					●
93	宮の台跨線橋	市道幕張196号線	210.5	1975	H29	Ⅱ	●○	○				●					●
94	幕張9号橋	市道幕張197号線	13.6	1987	H29	Ⅱ	●					●					●
95	北寺口跨線人道橋	市道幕張200号線	174	1978	H30	Ⅱ		●		▲		○	●				
96	上八坂橋	市道幕張222号線	14.5	1982	R3	Ⅰ					●	▲		□		●	
97	西の谷跨線橋	市道幕張本郷140号線	172.4	1973	R2	Ⅱ				●					●▲		○
98	子安参道橋	市道畑町41号線	28.78	1966	R3	Ⅱ			▲		○	●				●	
99	本村橋	市道畑町96号線	28.31	1969	R3	Ⅱ	○					●				●	
100	本村橋側道橋	市道畑町96号線	38.07	1976	R3	Ⅱ	○					●				●	
101	検見川橋	市道畑町222号線	59.53	1971	H30	Ⅱ		●	▲		○		●				
102	さつきが丘1号橋	市道さつきが丘49号線	13.1	1978	R3	Ⅱ					●					●	
103	浪花橋	市道浪花町39号線	55.5	1967	R2	Ⅱ				▲	●	○				●	
104	花園1号橋	市道花園11号線	157.0	1976	R2	Ⅱ					●					●	
105	長沼原橋	市道長沼原町1号線	6.7	1991	H29	Ⅰ	●						●				●
106	山王町2号橋	市道山王町2号線	3.4	1978	R1	Ⅰ				●				●			
107	山王町3号橋	市道山王町46号線	3.1	1978	R1	Ⅰ				●				●			
108	宮長橋	市道長沼町13号線	40.25	1968	R1	Ⅱ				●				●			
109	園生町1号橋	市道園生町9号線	6.43	1979	H29	Ⅱ	●						●				●
110	小園橋	市道園生町22号線	8.8	1981	H29	Ⅰ	●						●				●
111	園生橋	市道園生町22号線	7.95	1981	H29	Ⅱ	●						●				●
112	中島橋	市道園生町32号線	7.75	1982	H29	Ⅱ	●						●				●
113	下田橋	市道園生町41号線	7.4	1983	H29	Ⅱ	●						●				●
114	園生台橋	市道園生町99号線	34.67	1992	R1	Ⅰ				●				●			
115	千草橋	市道天台46号線	55.57	1969	R1	Ⅲ				●				●			
116	稲毛橋	市道稲毛47号線稲毛東24号線	11.4	1977	R3	Ⅰ					●					●▲	
117	稲毛7号橋	市道稲毛50号線	11.15	1978	R3	Ⅱ					●			▲		●□	
118	草野橋	市道稲毛62号線	11.36	1969	R3	Ⅰ					●	▲		□		●	
119	稲毛6号橋	市道稲毛72号線	10.5	1967	R3	Ⅰ					●					●	
120	幕張橋	市道稲毛120号線	46.7	1964	H30	Ⅱ		●					●				
121	稲毛5号橋	市道稲毛126号線	11.72	1971	R3	Ⅰ					●	▲		□		●	
122	稲毛1号橋	市道稲毛126号線	79.07	1981	R3	Ⅱ					●		▲		○	●	
123	稲丘第1橋	市道稲毛東40号線	13.1	1978	R1	Ⅱ				●				●			
124	稲丘第2橋	市道稲毛東52号線	20	1965	R1	Ⅰ				●				●			
125	稲丘第3橋	市道稲毛東60号線	21.5	1992	H30	Ⅰ		●						●			
126	宮野木町1号橋	市道宮野木町84号線	5.8	1978	R1	Ⅱ				●				●▲		□	
127	殿台橋	市道作草部町26号線	16.1	1973	H30	Ⅱ		●					●				
128	作草部町1号橋	市道作草部町28号線	7.45	1975	H29	Ⅰ	●					●	▲		□		●
129	西小中台橋	市道小中台町21号線	44.03	1980	R2	Ⅰ				●					●		
130	小中台橋	市道小中台町105号線	9.23	1979	H29	Ⅱ	●					●					●▲
131	小中台町1号橋	市道小中台町168号線	7.35	1977	H29	Ⅰ	●					●	▲		□		●
132	小中台町2号橋	市道小中台町172号線	9.43	1975	H29	Ⅰ	●					●					●▲
133	小中台町3号橋	市道小中台町173号線	9.4	1975	H29	Ⅰ	●					●					●
134	登戸1号橋	市道登戸8号線	14.35	1981	R3	Ⅰ					●					●	
135	松波陸橋	市道登戸47号線	32	1963	R2	Ⅱ				●○	○				●		
136	千葉港1号橋	市道千葉港5号線	8	1978	H30	Ⅰ		●					●				

※点検結果は令和4年3月末現在

※今後、他機関から移管される橋梁については、移管時に点検、補修時期を設定することとする

凡例：●点検、○修繕、□更新、▲設計

番号	橋梁名	路線名	橋長 (m)	架設 年度	点検 年次	点検 結果	対策の内容・時期													
							R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14			
137	鷹匠橋	市道富士見 3 号線	11.66	1989	H29	I	●					●					●			
138	新葭川橋	市道富士見 9 号線	9.4	1992	H30	I		●					●							
139	一本橋	市道富士見 1 6 号線	10.55	1992	H29	I	●					●					●			
140	日本橋	市道本千葉町 6 号線	10	1992	H29	I	●					●					●			
141	本千葉橋	市道本千葉町 7 号線	29.8	1992	R2	I				●					●					
142	吾妻橋	市道中央 2 号線	15.8	1996	H30	I		●					●							
143	常盤橋	市道中央 9 号線	10.16	1989	H29	I	●					●					●			
144	羽衣橋	市道栄町 1 号線	28.3	1983	R2	I				●					●					
145	堂満橋	市道要町 2 号線	9.3	1978	H30	I		●					●							
146	大和橋 1	市道本町 2 2 号線	27.3	1987	H30	I		●					●							
147	都橋 2	市道本町 2 2 号線	23.4	1985	R2	I				●					●					
148	祐光6号橋	認定外	7.95	1978	H30	Ⅱ		●					●	▲		□				
149	祐光3号橋	市道祐光 1 8 号線	3.1	1978	R1	Ⅱ			●					●						
150	道場北4号橋	市道道場北23号線	3.07	1978	R1	Ⅱ			●					●▲		□				
151	新旭橋	市道亀岡町 2 号線	20.6	1983	R2	I				●					●					
152	亀岡橋	市道亀岡町 5 号線	21.5	1986	R2	I				●					●					
153	亀井橋	市道亥鼻 3 号線	20.1	1972	R3	Ⅱ					●					●				
154	寒川町1号橋	市道寒川町 2 3 号線	3.42	1978	R1	Ⅱ			●					●						
155	寒川町2号橋	市道寒川町 2 4 号線	3.75	2001	R1	I			●					●						
156	寒川町3号橋	市道川崎町南北線	8.9	2007	H30	I		●					●							
157	今井4号橋	市道今井 3 0 号線	5.2	1978	H30	Ⅱ		●					●	▲		□				
158	今井3号橋	市道今井 3 1 号線	5.78	1965	H30	Ⅱ		●				▲	●	□						
159	今井1号橋	市道今井 3 3 号線	5.2	1968	H29	I	●					●▲		□			●			
160	今井2号橋	市道今井 3 5 号線	5.7	1968	H30	Ⅱ		●				▲	●	□						
161	今井陸橋	市道今井 3 8 号線	206.9	1987	R3	Ⅲ	▲	○	○		●					●				
162	川間橋	市道今井 3 9 号線	4.8	1961	H30	Ⅱ		●				▲	●	□						
163	蘇我跨線橋	市道今井 6 3 号線	57	1985	R2	Ⅱ				●					●					
164	宮崎歩道橋	市道宮崎 5 1 号線	126.21	1978	H30	Ⅱ		●	○	○			●							
165	今井橋	市道蘇我町 2 3 号線	5.6	1959	H30	Ⅱ		●				▲	●	□						
166	蘇我町4号橋	市道蘇我町 2 5 号線	2.6	1978	H30	Ⅱ		●					●							
167	蘇我町3号橋	市道蘇我町 2 9 号線	3.05	1978	H30	Ⅱ		●					●							
168	蘇我橋	市道蘇我町 4 3 号線	73.8	1976	R1	Ⅱ			●					●						
169	大森第二橋	市道大森町 1 0 号線	10.78	1981	H30	Ⅱ		●					●▲		○					
170	森池橋	市道大森町 1 3 号線	80.9	1978	R1	Ⅱ	▲	○	●					●						
171	緑歩道橋 1	市道松ヶ丘町 4 号線	74.05	1978	R3	Ⅱ					●▲		○			●				
172	宮崎第二橋	市道松ヶ丘町 4 号線	13.04	1981	H30	I		●					●							
173	星久喜町1号橋	市道星久喜町 1 4 2 号線	5.76	1978	R1	I			●					●						
174	近江下橋	市道仁戸名町 4 3 号線	21.13	1983	R3	I					●					●				
175	花輪第二橋	市道仁戸名町 9 7 号線	14.15	1981	H30	I		●					●							
176	川戸町4号橋	市道川戸町 6 5 号線	4.39	1978	R1	Ⅲ			●					●▲		□				
177	花輪第一橋	市道花輪町 2 号線	13.7	1981	H30	I		●					●							
178	花輪第三橋	市道花輪町 2 7 号線	14.02	1982	H30	I		●					●							
179	花輪第4橋	市道花輪町 3 4 号線	20.5	1983	H30	Ⅱ		●			○		●							
180	赤井第二橋	市道赤井町 6 0 号線	16.93	1990	R1	I			●					●						
181	塩田橋	市道塩田町 4 0 号線	23	1990	R3	I					●					●				
182	どうみき橋	市道浜野町 6 2 号線	18.45	1987	R3	I					●					●				

※点検結果は令和4年3月末現在

※今後、他機関から移管される橋梁については、移管時に点検、補修時期を設定することとする

凡例：●点検、○修繕、□更新、▲設計

番号	橋梁名	路線名	橋長 (m)	架設 年度	点検 年次	点検 結果	対策の内容・時期										
							R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14
183	新田橋	市道浜野町 6 8 号線	2.55	1950	R1	I			●					●	▲		□
184	さくら橋	市道作草部町 1 2 9 号線	10.25	1976	H29	I	●					●					●
185	あやめ橋	市道作草部町 1 3 1 号線	11	1976	H29	I	●					●					●
186	中の橋	市道作草部町 1 3 3 号線	10.2	1976	H29	I	●					●					●
187	すいせん橋	市道作草部町 1 4 5 号線	13.6	1978	H29	I	●					●					●
188	東寺山町2号橋	市道東寺山町 1 0 7 号線	5.05	1976	H29	I	●					●					●
189	東寺山町1号橋	市道東寺山町 1 0 9 号線	5.4	1976	H29	I	●					●					●
190	生実町2号橋	市道生実町 2 5 8 号線	12.91	1981	H30	I		●					●				
191	生実町3号橋	市道生実町 3 1 5 号線	12.91	1981	H30	I		●					●				
192	抱上橋	市道南生実町 3 号線	14.48	1986	H29	I	●					●					●
193	清流橋	市道南生実町 3 8 号線	14.48	1986	H29	I	●					●					●
194	御手洗橋	市道南生実町 4 0 号線	14.48	1986	H29	I	●					●					●
195	仲よし橋	市道南生実町 1 5 7 号線	15.94	1988	R2	I				●					●		
196	源町3号橋	市道源町57号線	18.7	1980	R3	Ⅱ					●					●	
197	殿台町1号橋	市道殿台町 2 1 号線	6.54	1981	H30	Ⅱ		●					●				
198	貝塚町1号橋	市道貝塚町 4 2 号線	3.2	1993	H30	I		●					●				
199	貝塚町2号橋	市道貝塚町 8 8 号線	3.4	1993	H30	I		●					●				
200	大草町6号橋	市道大草町 9 2 号線	7.2	1978	R1	Ⅱ			●					●			
201	大草町5号橋	市道大草町 9 3 号線	4.8	2001	R1	Ⅱ			●					●			
202	太田橋	市道太田町 7 号線	27.66	1994	R2	I				●					●		
203	太田町2号橋	市道太田町 7 号線	2.0	1978	R1	I			●					●			
204	辰巳橋	市道加曾利町 9 号線	49.9	1978	R1	Ⅱ			●					●			
205	小倉大橋	市道加曾利町 9 6 号線	21.8	1981	R3	I					●					●	
206	邊田前橋	市道加曾利町 1 4 1 号線	25.8	1980	R2	I				●					●		
207	新都川橋	市道大宮町 5 2 号線	22.3	1981	R3	I					●					●	
208	大宮町5号橋	市道大宮町 5 2 号線	2.17	1978	R1	I			●					●			
209	大宮町4号橋	市道大宮町 5 5 号線	2.7	1978	R1	Ⅱ			●					●▲		□	
210	鳥ヶ沢橋	市道大宮町 1 8 5 号線	37.96	1978	H30	I		●					●				
211	五郎橋	市道大宮町 1 8 9 号線	38.7	1978	H30	Ⅱ		●	▲		○		●				
212	高畑橋	市道大宮町 2 2 2 号線	36.1	1978	H30	I		●					●				
213	坂尾橋	市道大宮町 2 2 5 号線	37.5	1978	R1	Ⅱ			●▲		○			●			
214	下長橋	市道大宮町 2 2 5 号線	40.6	1978	H30	Ⅱ		●	▲		○		●				
215	白幡橋	市道大宮町 2 2 8 号線	36.78	1978	R1	Ⅱ			●					●			
216	中田橋	市道御殿町 3 号線	12.8	1982	R3	I					●					●	
217	中田町1号橋	市道中田町 5 0 号線	12.54	1982	R2	I				●					●		
218	中田町2号橋	市道中田町 1 7 1 号線	4.7	1978	H29	I	●					●					●
219	宮田橋	市道中田町 1 8 1 号線	10.42	1982	R3	I					●					●	
220	高根橋	市道高根町 8 4 号線	11.44	1992	R3	I					●					●	
221	多部田橋	市道多部田町207号線	14.11	1972	R3	Ⅱ	○				●		▲		□	●	
222	野呂町1号橋	市道野呂町 1 4 号線	4.85	1978	R1	I			●					●			
223	野呂町2号橋	市道野呂町 8 6 号線	3.9	1978	R1	I			●					●			
224	野呂町4号橋	市道野呂町 8 6 号線	3.9	1978	H29	I	●					●					●
225	中道橋	市道野呂町 1 5 9 号線	47.2	1977	R3	I					●					●	
226	野呂町5号橋	市道野呂町 1 6 1 号線	3.8	1978	H29	I	●					●					●
227	外鳥喰橋	市道野呂町 1 6 1 号線	32.1	1977	R3	I					●					●	
228	狩野原橋	市道野呂町 1 7 2 号線	57.86	1977	R3	I					●					●	

※点検結果は令和4年3月末現在

※今後、他機関から移管される橋梁については、移管時に点検、補修時期を設定することとする

凡例：●点検、○修繕、□更新、▲設計

番号	橋梁名	路線名	橋長 (m)	架設 年度	点検 年次	点検 結果	対策の内容・時期										
							R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14
229	向原口橋	市道野呂町196号線	43.04	1977	R3	I					●					●	
230	城見塚橋	市道和泉町86号線	33.58	1977	R3	I					●					●	
231	内島喰橋	市道和泉町58号線	31.63	1977	R3	I					●					●	
232	沢/台橋	市道和泉町81号線	35.08	1977	R1	I			●				●				
233	本郷西橋	市道中野町192号線	36.75	1977	H30	Ⅲ		●				●					
234	本郷東橋	市道中野町193号線	36.76	1977	H30	Ⅱ		●	▲		○	●					
235	太田山橋	市道中野町296号線	36.64	1977	H30	Ⅱ	▲	●○				●					
236	高品町1号橋	市道高品町191号線	4.8	1978	H30	I		●				●					
237	古市場町2号橋	市道古市場町30号線	2.44	1978	R2	I				●					●		
238	古市場町3号橋	市道古市場町60号線	2.45	1978	R2	I				●					●		
239	中西橋	市道中西町2号線	4.3	1965	H30	Ⅱ		●				▲	●	□			
240	船川原橋	市道落井町7号線	3.7	1988	R2	I				●					●		
241	富岡町1号橋	市道富岡町2号線	3.4	1988	R1	I			●					●			
242	富岡町2号橋	市道富岡町7号線	3.7	1988	R2	I				●					●		
243	小金沢町1号橋	市道小金沢町21号線	3.7	1988	R2	I				●					●		
244	平山町3号橋	市道平山町12号線	9.5	1978	R1	I			●					●			▲
245	平山町1号橋	市道平山町40号線	2.4	1978	R2	I				●					●		
246	谷津橋	市道平山町42号線	36.54	1978	R1	I			●					●			
247	平山町5号橋	市道平山町152号線	8.5	1978	R1	Ⅱ			●					●▲		□	
248	大管橋	市道平山町154号線	36.44	1978	H30	I		●				●					
249	鈴子橋	市道菅田町61号線	34.04	1978	H29	Ⅱ	●					●					●
250	菅橋	市道菅田町74号線	34.8	1978	H29	Ⅱ	●					●					●
251	下総橋	市道菅田町164号線	30.95	1978	R3	I					●					●	
252	下新田橋	市道高田町6号線	36.74	1977	R3	I					●					●	
253	栄橋2	市道高田町124号線	3.3	1967	R1	I			●					●			
254	奈木橋	市道高田町137号線	28.47	1978	R2	I				●					●		
255	お林橋	市道高田町156号線	32.57	1978	H29	I	●					●					●
256	高田橋	市道高田町232号線	8.7	1978	R2	I				●					●		
257	平川町1号橋	市道平川町58号線	4.76	1971	H29	I	●					●	▲		□		●
258	平川町2号橋	市道平川町59号線	4.79	1971	H29	I	●					●	▲		□		●
259	平川町4号橋	市道平川町62号線	4.8	1971	H30	Ⅱ		●				▲	●	□			
260	平川町3号橋	市道平川町64号線	4.8	1971	H30	I		●					●	▲		□	
261	平川町5号橋	市道平川町83号線	5.12	1971	H30	I		●					●	▲		□	
262	下大和田町1号橋	市道下大和田町5号線	2.9	1978	H30	Ⅱ		●					●				
263	下大和田町2号橋	市道下大和田町12号線	2.65	1978	H30	I		●					●				
264	下大和田町3号橋	市道下大和田町16号線	3.7	1978	H30	I		●					●				
265	下大和田町4号橋	市道下大和田町23号線	3.56	1978	H30	I		●					●				
266	下大和田町7号橋	市道下大和田町34号線	3.62	1978	H30	Ⅱ		●					●				
267	高本谷橋	市道越智町80号線	20.03	1990	H29	I	●					●					●
268	大木戸橋	市道大木戸町19号線	11.08	1956	R3	I					●					●	
269	野久保橋	市道大木戸町25号線	26	1983	H29	I	●					●					●
270	大橋	市道大木戸町32号線	7.05	1955	R1	I			●					●	▲		□
271	小川橋	市道大木戸町32号線	6	1955	R1	I			●					●	▲		□
272	大椎町1号橋	市道大椎町22号線	2.7	1975	R2	I				●					●		
273	大椎橋	市道大椎町23号線	6.6	2005	R1	I			●					●			
274	戸田楽橋	市道大椎町25号線	21	1983	H29	I	●					●					●

※点検結果は令和 4 年3月末現在

※今後、他機関から移管される橋梁については、移管時に点検、補修時期を設定することとする

凡例：●点検、○修繕、□更新、▲設計

番号	橋梁名	路線名	橋長 (m)	架設 年度	点検 年次	点検 結果	対策の内容・時期										
							R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14
275	郷土橋	市道板倉町 2 号線	7.93	1968	R2	I				●					●		
276	板倉町1号橋	市道板倉町 6 号線	7.2	1975	R1	I			●					●			
277	水羽橋	市道板倉町 6 号線	30	1983	H29	I	●					●					●
278	郷送橋	市道板倉町 1 1 号線	15	1983	R3	I					●					●	
279	高洲橋	市道稲毛海岸 1 号線	21.4	1964	H29	Ⅱ	●					●					●
280	真砂大橋	市道真砂 7 2 号線	101.8	1976	H29	I	●					●					●
281	こじま橋	市道高洲 1 3 号線	21.4	1973	H29	I	●					●					●
282	高砂1の橋	市道高洲 1 5 号線	21.4	1973	H29	I	●					●					●
283	高砂2の橋	市道高洲 1 6 号線	21.4	1973	H29	I	●					●					●
284	新高洲橋	市道高洲 2 8 号線	21.4	1971	R3	I					●					●	
285	高浜2の橋	市道高浜 3 号線	21.4	1974	R3	I					●					●	
286	高磯2の橋	市道高浜 6 0 号線	21.4	1974	H29	Ⅲ	●					●					●
287	新港3号橋	市道新港 2 号線	6.9	1978	R1	Ⅱ			●	▲		○		●			
288	新港2号橋	市道新港 2 号線	6.9	1987	R1	Ⅱ			●					●			▲
289	新港1号橋	市道新港 2 3 号線	6.9	1978	R1	Ⅱ			●					●			▲
290	吾富久橋	市道中央 7 号線	10.36	1991	H30	I		●					●				
291	文化橋	市道中央 8 号線	10.48	1990	H30	I		●					●				
292	稲毛4号橋	市道稲毛28号線	74.41	1982	H30	I		●					●				
293	曙橋	市道富士見1号線	10.12	1992	H30	I		●					●				
294	童橋	認定外	23.4	1984	R2	Ⅱ				●▲		○			●		
295	水源橋	認定外	22.15	1979	R1	Ⅱ			●○					●			
296	磯浜三の橋	市道磯辺26号線	21.7	1978	H29	I	●					●					●
297	高浜1の橋	市道高浜33号線	21.4	1974	H29	I	●					●					●
298	メット大橋(上り線)	市道千葉臨海線	42	1984	R2	I				●					●		
299	メット大橋(下り線)	市道千葉臨海線	42	1984	R2	I				●					●		
300	浜田陸橋(上り線)	市道中瀬幕張本郷線	426.21	1982	R1	Ⅱ		○	●					●			▲
301	浜田陸橋(下り線)	市道中瀬幕張本郷線	426.21	1982	R1	Ⅱ			●					●			
302	柏井橋	三角町柏井町線	—	—	架替中	架替中	□		●					●			
303	花島橋側道橋	市道三角町 1 号線	83.85	1988	R2	I				●					●		
304	汐留橋	認定外	40	1959	H30	Ⅱ		●	○				●				
305	殿堂橋側道橋	市道作草部町 2 6 号線	18.9	1973	H30	Ⅲ		●					●				
306	黒砂橋	市道高洲中央港線	13.1	1971	R3	I					●					●	
307	無名橋 1	市道椎名崎町11号線	3.9	1988	R2	I				●					●		
308	坊谷津大橋	市道川戸町 6 5 号線	20.1	1982	H29	I	●					●					●
309	羽佐間橋	市道大草町 7 0 号線	23.7	1993	H29	Ⅱ	●					●					●
310	祐左衛門橋	市道大草町 9 1 号線	16.85	1993	R1	I			●					●			
311	新大椎橋(上り線)	市道大木戸町土気町線	44.08	1988	R2	Ⅱ				●					●		
312	新大椎橋(下り線)	市道大木戸町土気町線	44.08	1988	R2	I				●					●		
313	大木戸西沢橋	市道大木戸町土気町線	103	1990	R1	Ⅱ			●					●			
314	長沼橋	認定外	57.25	1973	R1	Ⅱ	○		●					●			
315	大日橋	認定外	52.11	1973	R1	Ⅲ	▲	○	●					●			
316	武石橋	認定外	46.8	1968	H30	I		●					●				
317	新草原橋	市道宮野木町286号線	40	1982	R1	I			●					●			
318	稲毛2号橋	市道稲毛 1 0 号線	35.26	1981	R3	Ⅲ	▲	○			●					●	
319	境橋 2	市道西千葉駅稲荷町線	23.2	1987	H30	I		●					●				
320	大草橋	市道大草町 6 7 号線	24	2000	H29	I	●					●					●

※点検結果は令和 4 年3月末現在

※今後、他機関から移管される橋梁については、移管時に点検、補修時期を設定することとする

凡例：●点検、○修繕、□更新、▲設計

番号	橋梁名	路線名	橋長 (m)	架設 年度	点検 年次	点検 結果	対策の内容・時期										
							R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14
321	中芝台1号橋	市道おゆみ野東南部3号線	10.4	1983	H29	I	●					●					●
322	中芝台2号橋	市道おゆみ野67号線	19.5	1992	R3	I					●					●	
323	六通歩道橋	市道おゆみ野801号線	22.5	1993	R3	Ⅱ					●					●	
324	池ノ入橋	市道おゆみ野南55号線	20.4	1993	H30	I		●				●					
325	おゆみ野駅前歩道橋	市道おゆみ野801号線	27.1	1995	H29	Ⅱ	●○	○				●					●
326	扇田橋	市道おゆみ野中央1号線	15.6	1992	R1	I				●				●			
327	二重堀橋	市道磯辺茂呂町線	20	1987	R3	I					●					●	
328	日照田橋	市道おゆみ野東南部4号線	13.66	1989	H29	I	●					●					●
329	有吉橋	市道磯辺茂呂町線	23.3	1984	H29	I	●					●					●
330	日枝橋	市道おゆみ野東南部4号線	27.5	1983	H29	Ⅱ	●					●					●
331	すずかけ橋	市道おゆみ野東南部5号線	21.8	1983	H29	Ⅱ	●					●					●
332	小谷橋	市道おゆみ野中央108号線	27.6	1983	R3	I					●					●	
333	なつめ橋	市道おゆみ野中央109号線	27.4	1985	H29	Ⅱ	●○					●					●
334	宮前橋	市道おゆみ野中央1号線	29.4	1989	R3	Ⅱ					●					●	
335	谷先橋	市道磯辺茂呂町線	15.5	1983	H29	Ⅱ	●▲			○		●					●
336	しのぼり橋	市道浜野町大金沢町線	22.8	1972	H29	Ⅱ	●					●					●
337	おゆみ野中橋	市道おゆみ野東南部4号線	13.6	1983	H29	I	●					●					●
338	かつら橋	市道おゆみ野中央41号線	5	1983	H29	I	●					●					●
339	みずき橋	市道おゆみ野中央716号線	23.8	1984	R3	Ⅱ					●					●	
340	生実第4跨線橋	市道塩田町菅田町線	65	1992	R1	Ⅱ				●				●			
341	泉橋 1	市道おゆみ野東南部5号線	22.24	1983	H29	I	●					●					●
342	はるのみち橋	市道おゆみ野801号線	75	1992	H29	Ⅱ	●			○		●					●
343	なつのみち橋	市道おゆみ野801号線	50	1985	H29	Ⅱ	●					●					●
344	あきのみち橋	市道おゆみ野801号線	33.3	1985	R3	Ⅱ				○		●				●	
345	ふゆのみち橋	市道おゆみ野801号線	30.4	1990	H30	Ⅱ			●		○		●				
346	なかのみち橋	市道おゆみ野801号線	41.5	1985	H30	Ⅱ			●			▲		●○			
347	鎌取センター歩道橋	市道おゆみ野東南部3号線	85.31	1987	R3	Ⅱ					●					●	
348	学園前歩道橋	認定外	33.2	1997	H30	Ⅱ			●			▲		●○			
349	赤井第一橋	市道赤井町46号線	13.63	1990	H30	I			●				●				
350	あすみが丘1号橋	市道あすみが丘32号線	20.8	1996	R1	I				●				●			
351	大木戸町2号橋	市道大木戸町19号線	4.8	1978	H30	Ⅱ			●			▲		○	●		
352	大宮町2号橋	市道大宮町4号線	2.43	1978	R2	I				●				▲	●	□	
353	大宮町3号橋	市道大宮町336号線	3.76	1978	R2	I				●					●		
354	大宮町6号橋	市道大宮町223号線	2.1	1978	R2	Ⅱ				●				▲	●	□	
355	大宮橋	市道加曾利町大森町線	33.7	1994	R1	I				●				●			
356	生実町4号橋	市道生実町39号線	3.4	1978	R2	Ⅱ					●			▲	●	□	
357	生実橋	市道生実町65号線	19.64	1996	H30	I			●				●				
358	鎌取町1号橋	市道鎌取町42号線	15.56	1987	H30	Ⅱ	▲	●		○			●				
359	検見川町1号橋	市道検見川町18号線	13.85	1987	R3	Ⅱ					●					●	
360	懐橋町1号橋	市道懐橋町30号線	3.6	2009	R2	Ⅱ				●					●		
361	小中台新橋	市道小中台町181号線	8	1979	R2	I				●					●		
362	小中台町4号橋	市道小中台町21号線	32.26	1980	H30	I			●				●				
363	寒川町4号橋	市道寒川町20号線	13.1	1988	H30	Ⅱ			●				●				
364	出洲港1号橋	市道出洲港4号線	4.15	1978	R2	I				●					●		
365	末広1号橋	市道末広25号線	3.17	1978	R2	I				●					●		
366	末広2号橋	市道末広26号線	3.17	1978	R2	Ⅱ				●				▲	●	□	

※点検結果は令和4年3月末現在

※今後、他機関から移管される橋梁については、移管時に点検、補修時期を設定することとする

凡例：●点検、○修繕、□更新、▲設計

番号	橋梁名	路線名	橋長 (m)	架設 年度	点検 年次	点検 結果	対策の内容・時期													
							R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14			
367	末広5号橋	市道末広23号線	13.1	1988	H30	I		●					●							
368	蘇我町1号橋	市道蘇我町29号線	2.24	1978	R2	Ⅱ				●				▲	●	□				
369	蘇我町2号橋	市道蘇我町23号線	3.17	1978	R2	I				●					●					
370	蘇我町6号橋	市道蘇我町21号線	2	1978	R2	I				●				▲	●	□				
371	高品町1号橋	市道東千葉6号線	5.9	1978	R2	Ⅱ				●					●					
372	千葉寺町1号橋	市道千葉寺町7号線	3.16	1978	R2	I				●					●					
373	道場北2号橋	市道道場北14号線	7.27	1978	R2	Ⅱ				●					●					
374	中島橋側道橋	市道園生町32号線	9.93	2003	R2	I				●					●					
375	中浜橋（上り線）	市道中瀬幕張本郷線	42	1984	R2	I				●					●					
376	中浜橋（下り線）	市道中瀬幕張本郷線	42	1984	R2	I				●					●					
377	中浜橋側道橋	市道中瀬幕張本郷線	42	1984	H30	I		●					●							
378	仁戸名町平山町1号橋	市道仁戸名町平山町線	2.55	1978	R2	I				●					●					
379	畑町1号橋	市道畑町96号線	10.33	1983	H30	Ⅱ		●					●							
380	花園2号橋	市道畑町96号線	14.27	1978	R1	Ⅱ			●					●						
381	平山町4号橋	市道平山町85号線	4.1	1978	R2	I				●					●					
382	平成橋1	市道打瀬豊砂線	42	1989	H30	I		●					●							
383	平成橋2	市道塩田町28号線	26.5	1996	H30	I		●					●							
384	幕張西1号橋	市道幕張西61号線	14.79	1990	R2	Ⅱ				●					●					
385	万華橋	市道千葉寺708号線	63.42	1992	H30	I		●					●							
386	港町2号橋	市道稲荷町35号線	25.75	1981	H30	Ⅱ	○	●					●							
387	南生実町2号橋	市道南生実町3号線	2.35	1978	R2	I				●					●					
388	南生実町3号橋	市道南生実町50号線	3.2	1978	R2	I				●					●					
389	妙見橋	市道生実町21号線	20.4	1996	R1	I			●					●						
390	祐光4号橋	市道祐光2号線	2.4	1978	R2	Ⅱ				●				▲	●	□				
391	若浜橋	市道若葉3号線	42.49	1984	R1	I			●					●						
392	ふれあい橋	認定外	100	1987	R1	Ⅱ			●	▲		○		●						
393	無名橋2	市道川崎町南北線	16	2008	R1	I			●					●						
394	汐見橋	認定外	21.5	1979	H30	I		●					●							
395	町田橋	認定外	9.5	1965	R2	I				●					●					
396	富士見橋	市道富士見29号線	10.34	1986	H30	I		●					●							
397	穴川橋	国道126号	19.6	1980	R1	Ⅱ			●					●						
398	椿森橋	国道126号	65.4	1970	R1	Ⅱ			●	▲		○		●						
399	浜野跨線橋	主要地方道千葉茂原線	13.5	1965	H30	I		●○					●							
400	浜野跨線橋側道橋	主要地方道千葉茂原線	19	1966	H30	Ⅲ	○	●					●							
401	浜野橋	主要地方道千葉鴨川線	21.45	1983	R3	I					●					●				
402	要橋	主要地方道東千葉停車場線	9.1	1970	H30	Ⅱ		●	▲		○		●							
403	武石大橋	主要地方道千葉鎌ヶ谷松戸線	30	1969	R1	Ⅱ			●	▲		○		●						
404	貝塚橋	主要地方道千葉臼井印西線	5.14	1987	H30	Ⅱ		●					●							
405	高品橋	主要地方道千葉臼井印西線	54.75	1976	R1	Ⅱ			●					●						
406	千歳橋	主要地方道千葉臼井印西線	12.6	1964	R3	I					●					●				
407	千歳橋側道橋	主要地方道千葉臼井印西線	20	1964	R3	I					●					●				
408	大橋	主要地方道千葉大網線	29.6	1996	H30	I		●					●							
409	弁財天橋	主要地方道千葉大網線	5.5	1926	R2	I				●					●▲		□			
410	弁財天橋側道橋	主要地方道千葉大網線	6	1978	R2	I				●					●					
411	菅田跨線橋	主要地方道千葉大網線	174	1978	R3	Ⅱ				●						●				
412	越智新田跨線橋	主要地方道千葉大網線	152	1979	R2	Ⅱ				●					●		○			

※点検結果は令和4年3月末現在

※今後、他機関から移管される橋梁については、移管時に点検、補修時期を設定することとする

凡例：●点検、○修繕、□更新、▲設計

番号	橋梁名	路線名	橋長 (m)	架設 年度	点検 年次	点検 結果	対策の内容・時期									
							R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13
413	塩浜橋	主要地方道浜野四街道長沼線	21.32	1991	H30	I		●				●				
414	五十土橋	主要地方道浜野四街道長沼線	2.32	1997	R3	I					●				●	
415	清水台橋	主要地方道浜野四街道長沼線	31.3	1978	R3	I					●				●	
416	生実第3跨線橋	主要地方道浜野四街道長沼線	11.21	1980	R1	Ⅱ			●				●			
417	下八坂橋	主要地方道千葉鎌ヶ谷松戸線	14.6	1984	H30	I		●				●				
418	犢橋	主要地方道長沼船橋線	44	1964	R1	Ⅱ		▲	●	○				●		
419	玄鼻橋	主要地方道穴川天戸線	－	－	架替中	架替中	□	□	□	□		●				●
420	みつわ台2号橋	市道東寺山町山王町線	－	－	－	－		●					●			
421	畑大橋	主要地方道穴川天戸線	79.15	1967	H30	I		●					●			
422	園生大橋	主要地方道穴川天戸線	7.92	1981	H30	I		●					●			
423	新橋	主要地方道千葉川上八街線	22.2	1981	R1	I				●				●		
424	横水路橋(上り線)	主要地方道千葉船橋海浜線	16.04	1989	R2	I					●				●	
425	横水路橋(下り線)	主要地方道千葉船橋海浜線	16.04	1989	R2	Ⅱ					●				●	
426	横水路橋側道橋(下り線)	主要地方道千葉船橋海浜線	16	1989	R2	I					●				●	
427	横水路橋側道橋(上り線)	主要地方道千葉船橋海浜線	16	1989	R2	I					●				●	
428	豊砂陸橋	主要地方道千葉船橋海浜線	206.1	1989	R3	Ⅱ				▲	●	○				●
429	平川橋	県道菅田停車場中野線	5.35	1971	H30	I		●					●			
430	殿川橋	県道菅田停車場中野線	10.6	1974	R3	Ⅱ					●▲		○			●
431	中野高架橋	県道菅田停車場中野線	282	1990	R2	I					●				●	
432	大和田橋	県道土気停車場千葉中線	4	1958	H30	I		●					●			
433	大和橋 2	県道土気停車場千葉中線	2.24	1978	H30	I		●					●			
434	大道橋	県道土気停車場金剛地線	12.47	1974	R2	I					●				●	
435	特攻橋	県道土気停車場金剛地線	21.63	1984	R3	I					●					●
436	旭橋	市道中央星久喜町線	21.5	2007	R1	I			●					●		
437	赤井橋	市道大蔵寺町 4 〇号線	15	2006	R1	I			●					●		
438	笹目沢橋	市道磯辺茂呂町線	80.3	2004	R1	I			●					●		
439	四季見橋	市道南生実町 4 〇号線	14.5	1991	R1	Ⅱ			●					●		
440	のぞみ橋	市道南生実町 2 8号線	14.5	1991	R1	Ⅱ			●					●		
441	新弁天橋	市道幕張町弁天町線	33	1991	R1	I			●					●		
442	神門橋	市道浜野町大金沢町線	14.5	1991	R1	Ⅱ			●					●		
443	生実尼田跨線橋	主要地方道生実本納線	151.7	1999	R1	Ⅱ			●					●		
444	南生実橋	市道生実町 3 1 7号線	17.28	1989	R1	Ⅱ	▲	○	●					●		
445	夕焼け橋	市道浜野町大金沢町線	44.7	1988	R1	Ⅱ			●					●		
446	新谷橋	市道塩田町菅田町線	71	1992	H30	Ⅱ		●					●			
447	さざなみ橋	市道新宿 3 8号線	107.93	1995	R1	Ⅱ	▲		●		○			●		
448	港橋	認定外	7.77	1988	R3	Ⅱ					●					●
449	今井橋側道橋	認定外	10	2004	H30	Ⅱ		●					●			
450	蘇我町線ボックス 1	市道蘇我町 1 7 7号線	33.8	2003	R1	I			●					●		
451	蘇我町線ボックス 2	市道蘇我町 1 8 7号線	33.4	2003	R1	I			●					●		
452	蘇我町線ボックス 3	市道蘇我町 1 9 3号線	33	2003	H29	Ⅱ	●					●				●
453	黒砂橋側道橋	認定外	15.6	2003	R3	I					●					●
454	居寒台橋	市道幕張町弁天町線	20.5	2004	R1	Ⅱ			●					●		
455	花見川大橋	市道犢橋町 1 3号線	99.9	1996	R1	Ⅱ			●		▲		○	●		
456	泉橋 2	市道上泉町 7 6号線	20.6	1982	R1	I			●					●		
457	富田橋	市道御殿町 3号線	18	1982	R1	I			●					●		
458	富古橋	市道和泉町 1 4号線	17.27	1982	R1	I			●					●		

※点検結果は令和4年3月末現在

※今後、他機関から移管される橋梁については、移管時に点検、補修時期を設定することとする

凡例：●点検、○修繕、□更新、▲設計

番号	橋梁名	路線名	橋長 (m)	架設 年度	点検 年次	点検 結果	対策の内容・時期										
							R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14
459	若葉大橋	市道新町若松町線	165	1999	R1	Ⅱ			●▲		○			●			
460	緑水橋	市道平山町160号線	9.2	2003	H30	I		●					●				
461	新千葉橋	市道新千葉39号線	14.66	1998	R1	I			●					●			
462	新町登戸橋	市道新町39号線・登戸101号線	14.59	1998	R1	I			●					●			
463	緑歩道橋2	市道中瀬801号線	178.37	1995	R1	I			●					●			
464	黒砂陸橋	市道新港穴川線	181.8	2006	R1	I			●					●			
465	黒砂台1の橋	市道新港穴川線	49.3	2010	R1	I			●					●			
466	黒砂台2の橋	市道新港穴川線	71.5	2010	R1	I			●					●			
467	西千葉橋	市道新港穴川線	43	2005	R1	I			●					●			
468	黒砂台3の橋	市道新港穴川線	20.9	2007	H30	I		●					●				
469	新穴川橋	市道新港穴川線	33	2006	R3	I					●					●	
470	土気跨線橋	主要地方道千葉大網線	155	2004	R1	I			●					●			
471	寿橋	県道土気停車場金剛地線	26.5	2008	R1	I			●					●			
472	内山橋	市道横戸町64号線	42.8	2008	R1	I			●					●			
473	み春野橋	市道宇那谷町61号線	37.5	2006	R1	I			●					●			
474	瑞穂橋	市道幕張町弁天町線	86	2006	R1	Ⅱ			●		▲		○	●			
475	天戸大橋	主要地方道長沼船橋線	97	2006	R1	Ⅱ			●					●			
476	更科大橋	主要地方道浜野四街道長沼線	88	2005	R1	Ⅱ			●					●			
477	八幡橋（上り線）	市道越智町土気町線	86	2009	R1	I			●					●			
478	八幡橋（下り線）	市道越智町土気町線	86	2009	R1	I			●					●			
479	稲毛4号橋側道橋（上り線）	市道稲毛28号橋	74.38	1990	H30	I		●					●				
480	稲毛4号橋側道橋（下り線）	市道稲毛28号橋	74.38	1990	H30	I		●					●				
481	祐光5号橋	市道祐光8号線	8	1978	R2	Ⅱ				●						●	
482	生実町1号橋	市道生実町32号線	11.6	1978	R2	Ⅱ				●						●	
483	道場北1号橋	市道道場北16号線	3.5	1978	R2	Ⅱ				●						●	
484	祐光1号橋	市道祐光22号線	2.3	1978	R2	Ⅱ				●						●	
485	祐光2号橋	市道祐光23号線	2.9	1978	R2	Ⅱ				●						●	
486	末広4号橋	市道末広23号線	3	1978	R2	Ⅱ				●						●	
487	港町1号橋	市道港町6号線	4.89	1978	R2	Ⅱ				●						●	
488	大蔵寺町1号橋	市道大蔵寺町47号線	5.64	1978	R2	Ⅱ				●						●	
489	生実町5号橋	市道生実町64号線	2.11	1978	R2	I				●						●	
490	浜野町2号橋	市道浜野町50号線	3.4	1978	R2	I				●						●	
491	南生実町5号橋	市道南生実町157号線	4.8	1978	R3	Ⅲ				○	●						●
492	検見川町1号橋（京成）	市道検見川町小中台町線	16.1	1978	H30	I		●					●				
493	宇那谷町2号橋	市道宇那谷町43号線	3.39	1978	R3	Ⅱ					●						●
494	検見川町2号橋	市道検見川町小中台町線	2.8	1978	H30	I		●					●				
495	懐橋町5号橋	市道懐橋町15号線	4.7	1978	R3	Ⅱ					●						●
496	長作町2号橋	市道長作町213号線	3	1978	R1	Ⅱ			●					●			
497	長作町3号橋	市道長作町101号線	6	1978	R1	I			●					●			
498	幕張11号橋	市道幕張161号線	6.65	1978	R1	Ⅱ			●					●			
499	幕張本郷1号橋	市道幕張本郷80号線	6	1978	R1	Ⅱ			●					●			
500	幕張13号橋	市道幕張137号線	5.2	1978	R1	I			●					●			
501	幕張15号橋	市道幕張135号線	5.2	1978	R1	Ⅱ			●					●			
502	山王町1号橋	市道山王町1号線	4.9	1978	R3	Ⅲ					●						●
503	桜木町1号橋	市道桜木町28号線	3.6	1978	R3	I					●						●
504	多部田町2号橋	市道多部田町14号線	2.2	1978	R3	Ⅱ					●						●

※点検結果は令和4年3月末現在

※今後、他機関から移管される橋梁については、移管時に点検、補修時期を設定することとする

凡例：●点検、○修繕、□更新、▲設計

番号	橋梁名	路線名	橋長 (m)	架設 年度	点検 年次	点検 結果	対策の内容・時期										
							R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14
505	多部田町3号橋	市道多部田町35号線	4.2	1978	R3	Ⅱ					●				▲	●	□
506	大宮町10号橋	市道大宮町145号線	3.6	1978	R3	Ⅱ					●					●	
507	川井町2号橋	市道川井町18号線	8.7	1978	R3	Ⅱ					●					●	
508	川井町3号橋	市道川井町72号線	9.9	1978	R3	Ⅱ					●					●	
509	野呂町3号橋	市道野呂町64号線	2.3	1978	R3	Ⅱ					●					●	
510	五十土町1号橋	市道五十土町19号線	9.1	1978	R3	Ⅱ					●					●	
511	野呂町6号橋	市道野呂町174号線	3.7	1978	R3	I					●					●	
512	野呂町7号橋	市道野呂町179号線	2.6	1978	H29	I	●					●					●
513	西千葉稲荷町1号橋	市道西千葉駅稲荷町線	5.3	1978	H29	I	●					●					●
514	高品町2号橋	市道高品町168号線	3.5	1978	H29	I	●					●					●
515	高品町3号橋	市道高品町170号線	3.5	1978	H29	I	●					●					●
516	高品町4号橋	市道高品町171号線	3.5	1978	H29	I	●					●					●
517	谷当町2号橋	市道谷当町26号線	2.3	1978	H29	Ⅱ	●					●					●
518	平山町2号橋	市道平山町56号線	2.08	1978	H30	I		●					●				
519	高田町1号橋	市道菅田町平山町線	4.4	1978	H30	Ⅱ		●					●				
520	下大和田町5号橋	市道下大和田町18号線	2.3	1978	H29	I	●					●					●
521	下大和田町6号橋	市道下大和田町29号線	2.4	1978	H29	I	●					●					●
522	下大和田町8号橋	市道下大和田町35号線	3.4	1978	H29	I	●					●					●
523	高津戸町1号橋	市道高津戸町4号線	2.6	1978	H29	I	●					●					●
524	高津戸町2号橋	市道高津戸町4号線	3.4	1978	H29	I	●					●					●
525	越智町1号橋	市道越智町61号線	3.1	1978	H30	I		●					●				
526	越智町2号橋	市道越智町61号線	3.07	1978	H30	I		●					●				
527	越智町3号橋	市道越智町61号線	3.1	1978	H30	I		●					●				
528	越智町4号橋	市道越智町61号線	4.05	1978	H30	I		●					●				
529	越智町5号橋	市道越智町61号線	6.45	1978	H30	I		●					●				
530	大木戸町1号橋	市道大木戸町10号線	3.28	1978	H30	Ⅱ		●					●				
531	大椎町2号橋	市道大椎町22号線	2.32	1978	H30	Ⅱ		●					●				
532	花園陸橋（京成）側道橋	市道磯辺畑町線	141.3	1978	H30	Ⅲ		●	○				●				
533	稲毛陸橋歩道橋	市道海浜公園稲丘町線	153.9	1978	R1	Ⅱ			●▲		○			●			
534	蘇我町5号橋	市道蘇我町143号線	2.34	1978	R3	Ⅱ					●					●	
535	幕張18号橋	市道幕張470号線	12.48	1978	R1	I			●					●			
536	幕張12号橋	未供用（市道幕張138号線）	5.2	1978	R1	I			●					●			
537	多部田町1号橋	未供用（市道多部田町2号線）	5.14	1978	H29	Ⅱ	●					●					●
538	赤井第三橋	未供用（市道赤井町56号線）	16.9	1990	H29	I	●					●					●
539	若葉3号橋	市道真砂72号線	19	1977	R2	I				●					●		
540	鎌田橋	国道126号	6	1929	R1	Ⅱ			●					●▲		□	
541	鎌田橋側歩道橋(下り)	国道126号	6	1992	R1	I			●					●			
542	鎌田橋側歩道橋(上り)	国道126号	6	1992	R1	I			●					●			
543	無名4号橋側歩道橋(下り)	国道126号	10	1948	R1	I			●					●▲		□	
544	無名4号橋	国道126号	4.3	1948	R1	I			●					●			
545	無名5号橋側歩道橋(下り)	国道126号	5.5	1998	R1	I			●					●			
546	無名5号橋側歩道橋(上り)	国道126号	7.3	1998	R1	Ⅲ			●	▲		○		●			
547	無名5号橋	国道126号	4.3	1935	R1	Ⅱ			●					●▲		□	
548	坂月川橋	国道126号	28.2	1992	R1	I			●					●			

※点検結果は令和4年3月末現在

※今後、他機関から移管される橋梁については、移管時に点検、補修時期を設定することとする